

令和6年度

和歌山県よりよい生き方を実践する力を育む
道徳教育の推進事業 道徳教育研究発表会

研究紀要

〈研究主題〉

夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育
－生徒が主役となる道徳科の授業改善を中心に－



海南市立下津第二中学校

はじめに

子供達を取り巻く環境は大きく変化し、そのスピードも速く、今の中学生が社会人となるころの社会を想像すらできません。子供達には、社会を生き向くために変化への対応をしながら、今までとは異なるスキルも求められています。

そんな中で、子供達は自身の将来に向けて、自己を見つめ、他者を見つめ、多種多様な人と関わり、じっくりと自分の世界を広げていき、社会の一員としてより良く生きていくためにはどうすればよいかを自分事として考え実践できる力がより必要になってきます。

令和5・6年度と「和歌山県よりよい生き方を実践する力を育む道德教育の推進事業」に取り組むこととなり、当初、「生徒が主役となる道德科の授業研究」として研究を始めました。研究を進めていく中で改めて本校の道德教育を見直し、授業だけではなく、学校教育全般において生徒の良さを伸ばし成長させていく道德教育を目指し、「夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道德教育～生徒が主役となる道德科の授業改善を中心に～」と主題を再設定し、教職員一丸となって取り組んでまいりました。

まずは、授業改善に着目し、統一した授業形態を構築するために、畿央大学 教授 島 恒生 先生からご指導を受け、生徒達の考えが深まり自分事として考えられる効果的な授業展開について研究しました。授業は担任、副担任に関わらず教員全体で授業を行い、教員が同じ方向性を持って授業改善に取り組みました。生徒の中でも「道德科の授業では自分の意見を言っても大丈夫だ」「意見を言うこと、表現することは恥ずかしいことではない」という意識が芽生え、意見交換をすることが当たり前の授業風景になってきました。発表はしなくても、文章として自分の意見を表現できる生徒が増え、その変容を見て取ることで、道德科の授業に対する教員の意識も変わってきています。それらの生徒の変容が教員の自信になっています。さらに、各教科や学校行事が道德科と深く関わっていることを再認識するため別葉を作成しました。学校生活全体で下津第二中学校の道德科の基礎を作り、実践することで、道德的価値について学校生活全般で意識させることにより、自分事として深く考えることができる生徒の育成につなげていきたいと考えています。

本日ご参加いただいた皆様には、これからの本校のためにも忌憚のないご意見、ご指導をお願い申し上げます。

最後になりましたが、畿央大学教育学部現代教育学科教授 島 恒生先生 をはじめ、和歌山県教育委員会、海南市教育委員会の皆様、下津町管内の小中学校の先生方に温かいご指導、ご助言を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

令和6年11月
海南市立下津第二中学校
校長 田上 智世

目 次

はじめに

I 学校概要

1 学校概要	1
2 下津第二中学校スクールプラン	2

II 研究概要

1 研究主題	3
2 研究主題設定にあたって	3
3 研究課題	3
4 研究の進め方	4
5 道徳教育全体計画	5
6 研究について	
(1) 研究組織	6
(2) 道徳科年間指導計画	7
(3) 授業研究部における取り組み	
① 基本的な授業の流れについて	10
② 授業づくりシートの活用	11
③ 学習指導案・公開授業案における様式	12
④ 授業交流と教材研究・協議	20
(4) 全校における道徳性を育む取組	
① 道徳科と教科等との関連(別葉)	21
② 異学年交流の充実	27
③ 道徳科と体験活動との関連行事(全体)	28
④ 道徳科と体験活動との関連行事(学年)	29
⑤ 道徳的実践の場とした委員会の活動	31
⑥ 道徳性を養うための環境整備	33

III 研究における成果と課題

IV 実践内容

1 令和5年度・令和6年度 授業実践のあゆみ	1
2 令和5年度実践	
(1) 3年A組実践「心にしみこむ“言葉”の力 - 池上 彰」 【B(9)「相互理解、寛容」】	4
(2) 2年B組実践「宝塚方面行き - 西宮北口駅」 【C(10)「遵法精神、公德心」】	8
(3) 2年B組実践「誇りをもって生きるとは・・・」 【C(22)「よりよく生きる喜び」】	13
3 令和6年度実践	
(1) 3年B組実践「スイッチ」 A(1)「自主、自律、自由と責任」	20
(2) 1年A組実践「席替え」 C(11)「公正、公平、社会正義」	25
(3) 2年A組実践「左手でつかんだ音楽」 A(4)「希望と勇気、克己と強い意志」	30

I 学校概要

Ⅰ 学校概要

(1) 海南省立下津第二中学校 校歌

一 長峰の尾根はやわらか 加茂の郷
ひらく山々 日々にみて
世紀のいぶき 新しく
学びのまどの すがしきよ
誠実の 誠実の道
此処にあり 此処にあり

二 加茂川の流れ清らに 加茂の郷
新しき世に おくれじと
七百の友 手を組みて
彼方に行かん はるけくも
真実の 真実のかね
此処にあり 此処にあり

三 潮風の塩津大崎 加茂の郷
吹きなごむべし 大海の
広き心の 影みえて
三年の睦み なつかしや
愛惜の 愛惜の盾
此処にあり 此処にあり

(2) 所在地・概要

①所在地

〒649-0133 和歌山県海南省下津町下 287 番地 2

TEL (073) 492-2047 FAX (073) 492-5562

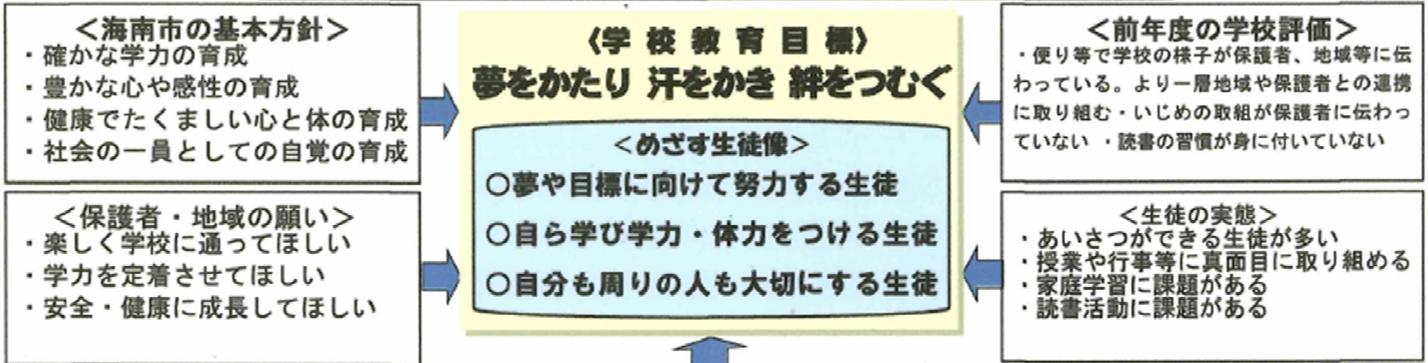
②校区の様子

校区は、加茂第一地区、加茂第二地区、仁義地区、大東地区、大崎地区、塩津地区の6地区によって成り立っている。校区の特徴として、山間部と沿岸部に位置しており、下津の蔵出しみかんなどの農業、沿岸部ではしらすといった漁業、地元企業では除虫菊を活用した品物やプラスチック製品、5本指ソックスなどの産業が盛んである。

令和5年に「道の駅 サクアス」がオープンし、地元の特産品の販売や産物を活かした食事の提供を行うことで、県内外問わず多くの来客が訪れている。また、海南省から有田市までの国道42号線「有田海南道路」の延伸工事が進んでおり、海南省冷水から下津町を通過する道路が令和7年春に開通予定となっている。

下津第二中学校では、通常学級4、特別支援学級1の計5学級、全校生徒104名である。生徒は男女分け隔てなくコミュニケーションを取ることができ、真面目で活発な様子が見られる。下津第二中学校の伝統を受け継いでいる行事として、生徒が主体となって創り上げる体育祭や合唱大会、清掃時間は喋らず、隅々まで掃除に取り組む「無言清掃」がある。部活動については運動部5つ、文化部2つの全7つの部があり、どの部も日々の練習に熱心に取り組んでいる。令和6年度は、海草地方夏季総合体育大会で3つの部が県大会に出場を果たすなど活躍している。また駅伝部は、年間を通して積極的に練習に取り組み、これまでに近畿駅伝や全国駅伝への出場経験がある。

地域との連携も活発で、令和3年度には、約10年にわたって地域住民と共に防災学習に取り組んできたことに対して消防庁長官賞、内閣総理大臣表彰を受けた。



本年度の重点目標

自ら学ぶ力を育て、確かな学力をつける

- ①わかる喜びが実感できるよう授業を改善する。
 - ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
 - ・チーム・ティーチング等の工夫改善を行い、個別最適な学びと協働的な学びを充実する。
 - ・特別支援教育の視点を大切にする。
- ②「主体的・対話的で深い学び」について研究を深める。
 - ・「深い学び」、「ICTの活用」、「指導と評価の一体化」について研究を深める。
- ③読書と家庭学習を充実する。
 - ・朝読書や家庭読書など、習慣化に向けた取組を充実する。
 - ・家庭学習の充実に向けた取組を行う。

豊かな心や感性を育む

- ④感動があり、活気のある学校生活を創造する。
 - ・行事や生徒会活動などで生徒の自主性を育成し、多くの感動体験を味わわせる。
- ⑤いきいきとした学校づくりを推進する。
 - ・温かい人間関係や心の居場所としての学級・学年づくりを目指した活動を充実する。
 - (いじめ撲滅と話し合い活動の推進に取り組む。)
 - ・人権教育を推進し、自分と周囲の人との関わり、障害者理解、命の重みについて考え、互いの人権を大切にする
- ⑥道徳性を育成する。
 - ・特別の教科道徳を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む。

健康でたくましい心と体を育てる

- ⑦生徒の生活実態を把握し、正しい生活習慣と、秩序ある校風を創造する。
 - ・挨拶・授業規律・清掃を重視し、清潔感に満ち、落ち着いた雰囲気を作る。
 - ・一日や授業の始まりと終わりを大切にする。
 - ・スマホ、ゲーム機等の適切な使用について啓発する。
- ⑧欠席しがちな生徒への支援の充実を図る。
 - ・家庭・SC・関係機関と密に連携し、組織的に支援する。
- ⑨体力の向上と部活動の充実を図る。
 - ・自主的な活動を育て、仲間との連帯感を培うとともに、気力・体力・技能・礼儀を向上させる。
 - ・駅伝や運動を勧め、競技力の基礎となる走る力を強化する。

地域とともにある、信頼される学校づくり

- ⑩学校情報を積極的に発信するとともに、ボランティア活動に積極的に取り組み、市民性を身に付けさせる。
 - ・生徒会での福祉活動を充実する。
 - ・行事や総合的な学習の時間に、できるだけ多くの保護者や地域の人々等が参加できるように工夫する。
 - ・学校運営協議会において、地域とともにある学校になるために、地域住民及び保護者と協議する。
- ⑪総合的な学習の時間で体験的な学習の充実を図る。
 - ・地域等と連携した体験的な活動を通じて、自己を理解させ、将来の生き方を考えさせる。
- ⑫防災の意識を高める。
 - ・地域住民とともに、将来の災害に対応できる知識と行動力を身に付けさせる。

重点目標にかかる指標

- ① 生徒アンケートで、「授業がわかる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ② 授業改善に向けて、教員全員が研究授業を年1回以上実施する。
- ③ 生徒アンケートで、「1日に2時間以上家庭学習をする(塾等も含む)」の肯定的な意見が60%以上となる。
- ④ 生徒アンケートで、「活気ある学校か」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑤ 生徒アンケートで、「学校が楽しい」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑥ 生徒アンケートで、「トイレのスリッパを丁寧にそろえる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑦ 生徒アンケートで、「そうじの取組」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑧ 教員アンケートで、「欠席しがちな生徒への連携した支援」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑨ 体力テストの結果が、実施種目2/3で全国平均を上回る。
- ⑩ 学校運営協議会による学校評価で、「地域との連携」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑪ 生徒アンケートで「体験的な学習」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑫ 生徒アンケートで、「防災学習」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。

II 研究概要

1 研究主題

夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育 —生徒が主役となる道徳科の授業改善を中心に—

2 研究主題設定にあたって

本校の学校教育目標は、「夢をかたり 汗をかき 絆をつむぐ」である。その実現に向けての重点目標の一つである「豊かな心や感性を育む」を達成するために、「道徳科の授業を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む」としている。また、本校は令和5・6年度の2年間、和歌山県教育委員会による「和歌山県よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」に取り組むことになった。

本校では日頃、全教員がそれぞれの担当学年において、担任・副担任に関わらず道徳科の授業を交代で行っている。生徒は真面目に道徳科の授業に取り組んでいるが、「授業者が話しすぎて、生徒の発言を十分に引き出せていない」、「発達段階に応じた目標を達成するための議論が作り出せていない」など、道徳科の授業研究に不十分さを感じている。

そこで、令和5年5月より研究主題を「生徒が主役となる道徳科の授業研究」として研究を始めた。研究を進めていく中で、道徳科の授業だけでなく、学校教育活動全体で行う道徳教育について研究を深め、本校生徒の良さを伸ばしたい、成長させたいという思いを込め、令和5年9月より「夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育—生徒が主役となる道徳科の授業改善を中心に—」と研究テーマを再設定し、道徳科の趣旨・内容を踏まえた指導方法の工夫改善及び、学校教育活動全体における道徳教育の在り方について研究を深めている。

3 研究課題

(1) 道徳的価値を深める道徳科の授業及び、指導改善の必要性。

生徒が道徳的価値を深めるためには、単に道徳科の授業だけではなく、学校教育活動全体においても取り組む必要がある。

(2) 教科書・道徳読み物教材「希望へのかけはし」を活用した授業の質の向上。

(3) 生徒の実態に応じた道徳教育のカリキュラムマネジメントの課題。

学校や地域の特色を生かした授業計画の改善と、生徒の実態に合わせた教育活動の計画が必要である。これにより、生徒がより自分事として考え、仲間とともに地域の一人としての誇りを持つことにつながると考えられる。

(4) ICTを活用した道徳科の授業実践の研究不足。

今後の研究で、ICTを活用した生徒参加型の授業環境の構築や効果的な活用方法を探求する必要がある。

(5) 生徒の実態を踏まえ、下津第一中学校と下津第二中学校の統合を見据えた道徳教育全体計画等の見直し及び、道徳教育の充実に向けた指導体制の構築。

4 研究の進め方

(1) 道徳研究部を中心とした研究計画、研究内容の企画・立案

校長、教頭、研究主任、道徳主任の4名で構成される「道徳研究部」を立ち上げ、研究組織の核となって研究を推進していく。

(2) 研究部と各学年が連携した道徳教育の充実・研究の推進

道徳科における授業改善に向けた研究と下津第二中学校における道徳科の授業改善の視点を重視した研究内容を深める。

(3) 3部会による学校教育活動全体における取り組む意義の見直しと環境整備の充実

道徳教育の研究指定を受けて「研究発表部」「授業研究部」「資料作成部」の3部会を設置し、道徳性を育てるための環境整備の充実を図る。

①研究発表部においては、アンケート作成・考察と研究の方向性を示し、道徳教育の充実を図る。

②授業研究部においては、「学習指導案・公開授業案における様式」についての共通理解を図る。

③資料作成部においては、体験活動の意義を見直し、下津第二中学校の特性を活かした体験活動の充実に取り組む。

(4) 研究授業（年間3回）、公開授業（全教職員）、研究協議の活性化

全教職員の道徳科における指導力を高めるため、研究授業または、1人1授業（プランニングシート）の公開授業を実施し、授業力向上に向けた協議を行い、改善を図る。

(5) 学校教育活動全体における取組の推進

道徳科を要としながら、教育活動全体を通して取り組んでいく必要がある。委員会での活動や教室内や廊下などの掲示物（学級・委員会）の工夫、地域の方や外部講師と連携するなど、生徒の道徳性を養うための体験活動について全教職員で考えていく。

(6) 校内研修の充実

指導主事訪問（年2回）や大学教授の招聘（年2回）を通して、下津第二中学校における道徳教育の研究を深めていく。研修会等に参加した場合は、現職教育で全教職員に成果や課題を共有し、今後の実践に生かしていくようにする。また、学年での交流を通して、授業改善や様々な体験活動の充実を図る。

(7) 道徳アンケートの活用

本研究を通して、生徒達にどのような変容が見られたかを検証するため、道徳アンケートを年間3回実施し、生徒達の変容を考察する。また、教職員にも年間1回のアンケートを実施し、授業実践に対する意識の変容が見られたかも検証する。

(8) 道徳だよりを発行し、保護者に情報発信

各学年で「道徳だより」を発行し、授業の内容項目や生徒の感想などを保護者に伝える。学期の終わりにアンケート協力を依頼し、保護者から見た子どもの様子や変容について評価してもらい、今後の授業改善につなげる。

5 道徳教育全体計画

教育目標
夢をかたり、汗をかき、絆をつむぐ

本年度の重点目標
1 自ら学ぶ力を育て、確かな学力をつける 2 豊かな心や感性を育む 3 健康でたくましい体と心を育てる 4 地域に根差した、信頼される学校づくりを進める

道徳教育の目標
1 自ら正しく判断し、行動しようとする 2 自他の生命、人権、立場を尊重し、豊かな心を持つ 3 人間としての生き方を追及していこうとする態度を身につける

道徳教育指導の重点
1 望ましい生活習慣を身につけ、礼儀の意義を理解し時と場に応じて適切な言動がとれるようにする 2 自主的に正しく判断し、誠実にねばり強く実行してその結果に責任をもつ態度を養う 3 謙虚に自らを顧みると共に、他に学ぶ広い心をもち、協調して共に高めあえるようにする 4 学校や学級、地域社会の一員としての自覚をもち、よりよい学校や地域を築こうとする態度を育てる

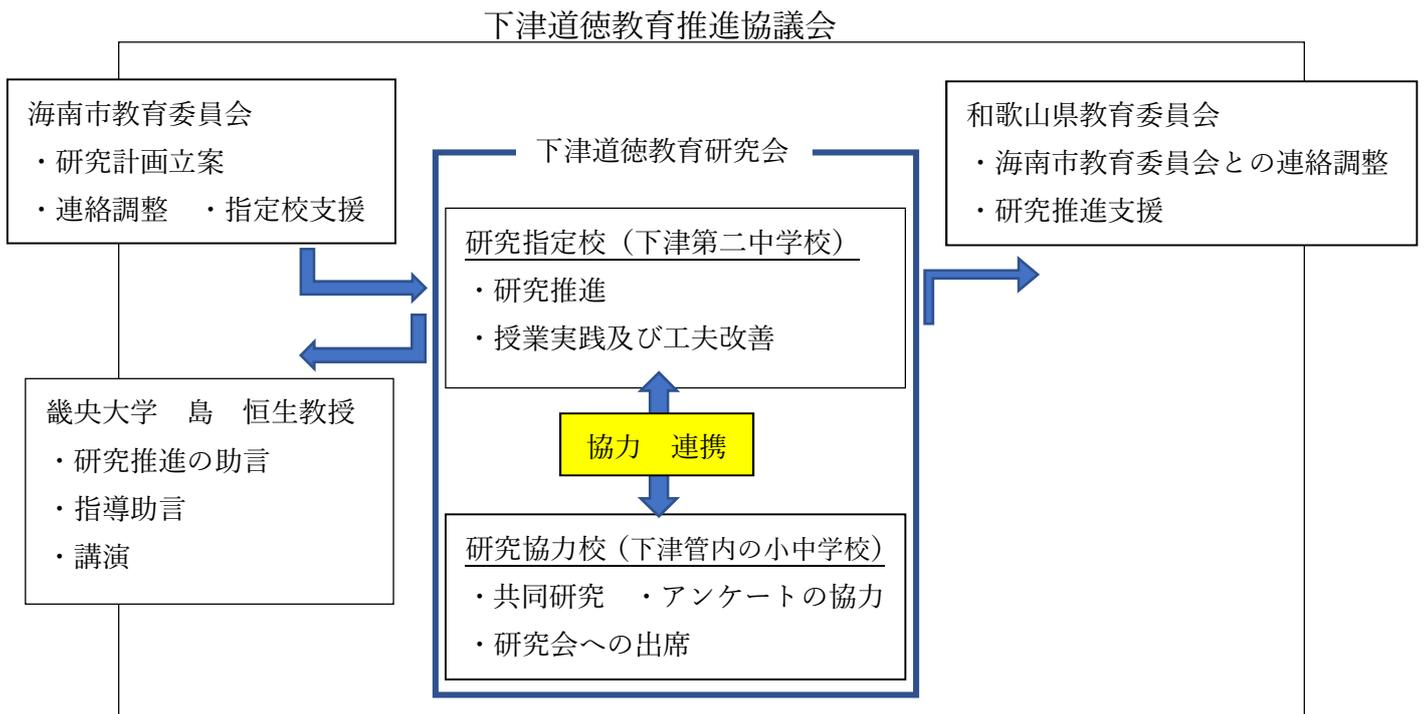
学年別重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
1 中学生としての生活態度を確立する 2 学習習慣を身につけ、学習意欲を高める 3 地域への理解を深め、地域の一員としての自覚を高める 4 仲間を大切にし、みんなで協力する 5 心身の健康の増進を図り、安全な行動をとる	1 自らの行動に責任を持ち、けじめのある生活をする 2 向上心を持って、主体的に学習する 3 自己を見つめ、自己の進路について考える 4 互いを認め、共に支え合う 5 心身の健康の増進を図り、有効な余暇の利用に努める	1 最高学年の自覚を持ち、自律的に行動する 2 自己の適性・能力を知り、進路について考える 3 個人および社会の一員としての自覚を高める 4 社会に対する理解を深め、理想の実現をめざす 5 青年期の心身の健康と特質を知り、安全な行動をとる

教科活動	特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他の活動
各教科の目標を推し進めるなかで、人間が生きていくうえで必要な学力を身につけ、自ら学ぶ態度を育てる	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる	自主的・意欲的かつ協力して問題解決にとりくむことによって道徳的実践を図る	体験的学習や問題解決的な学習を通して、自己の生き方を考え、生きる力を身につけ、道徳的実践を図る	家庭・地域との交流を深めながら、連携して道徳的実践力を培い実践しようとする態度を養う

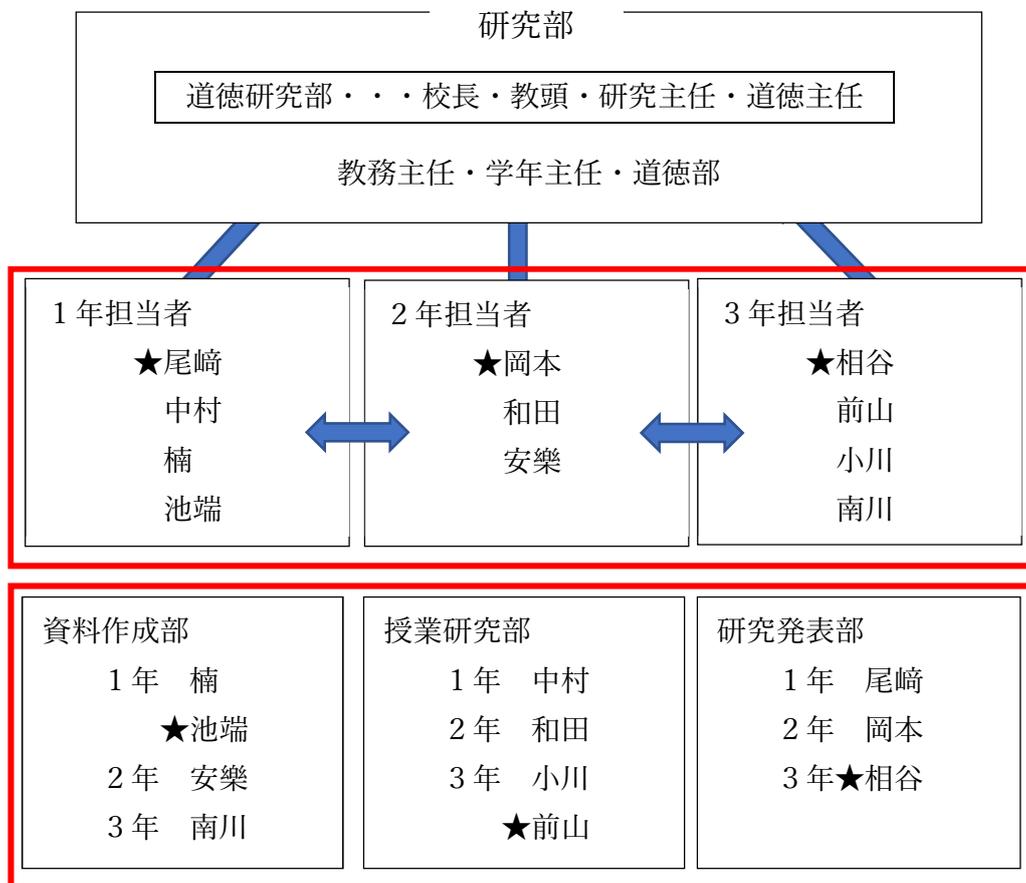
6 研究について

(1) 研究組織

①下津道徳教育推進協議会を設置し、地域一体となり研究を進める。



②校内研究組織を設置し、校内で役割を分担しながら研究を深める。



道徳教育の研究指定を受けて「資料作成部」「授業研究部」「研究発表部」の3部会を設置。

各学年においては、主に授業づくりに焦点を当て研究に取り組んだ。

(2) 道徳年間指導計画

道徳科年間指導計画【1年】(教科書 東京書籍)※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	B-(7)	礼儀	あいさつを交わして	朝市の「おはようございます」
	B-(9)	相互理解、寛容	いじめのない世界へ	いじめに当たるのはどれだろう
	C-(12)	社会参加、公共の精神	ボランティア活動に参加して	楽寿号に乗って
5月	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	傍観者でいいのか
	C-(11)	公正、公平、社会正義	クラスの生活をよくするために	席替え
	B-(6)	思いやり、感謝	相手のことを思いやり、 行動する	※後世の人々に託す -浜口梧陵-
6月	B-(8)	友情、信頼	友達とともに	班での出来事
	A-(2)	節度、節制	安全な生活のために	山に来る資格がない
	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	短文投稿サイトに 友達の悪口を書くこと
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	決断! 骨髄バンク移植第一号
7.8月	A-(2)	節度、節制	安全な生活のために	古びた目覚まし時計
	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	ふるさとのために	ぼくのふるさと
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	町をつくるもの	※町内会デビュー
9月	C-(10)	遵法精神、公德心	権利と義務を考えて	選手に選ばれて
	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめを許さない心	※今しかない
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	あなたはひかり
	C-(15)	よりよい学校生活、 集団生活の充実	よりよいクラス活動を目指して	全校一を目指して
10月	C-(12)	社会参加、公共の精神	公共の精神とは	本が泣いています
	D-(22)	よりよく生きる喜び	心の弱さを乗り越えるために	※銀色のシャープペンシル
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	挑戦し続けること	風を感じて -村上清加のチャレンジ-
	A-(3)	向上心、個性の伸長	自分とのつきあい方を考えよう	自分の性格が大嫌い!
11月	C-(10)	遵法精神、公德心	だれもが気持ちよく過ごせる 社会を目指して	ごみ箱をもっと増やして
	A-(5)	真理の探究、創造	新しいものを生み出すときに	「どうせ無理」という 言葉に負けない
	B-(6)	思いやり・感謝	親を敬う心	※父母状
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	いのちって何だろう
12月	C-(13)	勤労	働くってどんなこと?	新しいプライド
	C-(13)	勤労	いきいきとかがやいて	「看護する」仕事
1月	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	心に郷土を刻もう	郷土を彫る
	D-(21)	感動、畏敬の念	自然の力と向き合って	火の島
	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	家族の幸せのために	靴
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	世界の人々とともに	山岳民族の文化を守る
	D-(22)	よりよく生きる喜び	生きることの素晴らしさを感じて	花に寄せて
	B-(9)	相互理解、寛容	人の気持ちが分かる人間を目指して	落語が教えてくれること
3月	D-(20)	自然愛護	自然とのつながりを考えよう	桜に集う人の思い
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	日本の伝統と文化にふれて	古都の雅、菓子的心

【2年】(教科書 東京書籍)※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	B-(7)	礼儀	良好な関係を目指して	あいさつ
	C-(12)	社会参画、公共の精神	よりよい社会を目指して	住みよい社会に
	C-(13)	勤労	仕事を選ぶとき	宇宙人
5月	C-(13)	勤労	勤労から得られるものとは	我、ここに生きる
	A-(2)	節度、節制	安全につながる日常の大切さ	田老の生徒が伝えたもの
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	あの子のランドセル
6月	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	ゴール
	C-(10)	遵法精神、公德心	よりよい社会のために	宝塚方面行きー西宮北口駅ー
	B-(9)	相互理解、寛容	おおらかな気持ちで	注文を間違える料理店
	B-(6)	思いやり、感謝	国境をこえて	※つなぐ思いーエルトゥールル号ー
7.8月	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の魅力にふれて	祭りの夜
	A-(2)	節度、節制	気持ちを整えて	白ご飯を目指してー萩野公介ー
	D-(21)	感動、畏敬の念	敬意をもって自然と接する	夜は人間以外のものの時間
9月	B-(8)	友情、信頼	本当の友情とは	みんなでとんだ!
	C-(12)	社会参画、公共の精神	たがいに支え合う社会	今度は私の番だ
	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	私のせいじゃない
	C-(10)	遵法精神、公德心	良心に耳を傾ける	※闇の中の炎
10月	C-(10)	遵法精神、公德心	正しい判断とは	「いいね」のために?
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	あきらめない気持ちで	左手でつかんだ音楽
	A-(3)	向上心、個性の伸長	「今」をいる私のために	私は十四歳
	B-(9)	相互理解、寛容	過ちを受け入れる心(情報モラル)	※はじめての練習試合
11月	C-(15)	よりよい学校生活、集団生活の充実	誇りを胸に	四十七年に感謝をこめて
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	妹に
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	奇跡の一週間
	B-(8)	友情、信頼	友情の深さ	※嵐の後に
12月	A-(1)	自主、自立、自由と責任	誠意をもって	金語楼さんのこと
	D-(22)	よりよく生きる喜び	自分を信じて生きるとは	本当の私
1月	D-(22)	よりよく生きる喜び	自分を信じて生きるとは	自分を信じて生きるとは…
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統文化を継承し発展させていくために	書道パフォーマンスの挑戦
	B-(6)	思いやり、感謝	気持ちをこめて	心に寄りそう
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	垣根をこえて	六千人の命のビザ
	B-(6)	思いやり、感謝	支え合いの中で	愛
	D-(20)	自然愛護	自然環境に優しく	冬の使者「マガン」
3月	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	思いを形に	ごめんね、おばあちゃん
	A-(5)	真理の探究、創造	高い志をもつ	※よりよいものを求めてー上山英一郎ー

【3年】(教科書 東京書籍) ※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	D-(22)	よりよく生きる喜び	信頼を貫いて生きる	背番号15が歩んだ道 -黒田博樹-
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	スイッチ
	B-(7)	礼儀	言葉にそえて	言葉おしめ
5月	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	無実の罪
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	ある日の午後から
	C-(10)	遵法精神、公德心	次世代のいない手として	缶コーヒー
6月	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	いじめから目をそむけない
	B-(9)	相互理解、寛容	価値をめぐって	しあわせ
	A-(2)	節度、節制	自分の生活を見直して	スマホに夢中!
	C-(13)	勤労	将来の自分を見つめて	好きな仕事が安定かなやんでいる
7.8月	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	家族の支えがあるから...	背筋を伸ばして
	A-(2)	節度、節制	日々を見つめて	早朝ドリブル
	C-(10)	遵法精神、公德心	規則の意義とは	二通の手紙
9月	C-(12)	社会参画、公共の精神	寄りそう中で	加山さんの願い
	C-(15)	よりよい学校生活、 集団生活の充実	伝統を創るもの	受けつがれる思い
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	より高い目標を目指して	高く遠い夢
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	生まれてきてくれて、ありがとう -助産師からのメッセージ-
10月	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	人間のいのちとは -人間の命の尊さ、大切さを考える-
	D-(19)	生命の尊さ	大切にしたいもの	医学を極める-華岡青洲-
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	くちびるに歌をもて
	B-(6)	思いやり、感謝	周りの人に支えられて	埴生の宿
11月	D-(20)	自然愛護	恩恵に感謝して	よみがえれ、日本海!
	B-(6)	思いやり、感謝	身にしみる温かい思い	帰郷
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	たとえぼくに明日はなくとも
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	日本人として	日本人々に勇気と自信を -フレッド・和田 勇-
12月	D-(22)	よりよく生きる喜び	生きる喜び	「マザー・テレサ」から 学んだこと
	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	郷土に息づく心につれて	島唄の心を伝えたい
1月	C-(10)	遵法精神、公德心	公共のために尽くす	鳩が飛び立つ日-石井筆子-
	A-(5)	真理の探究、創造	強く生きていくために	日本から世界へ、そして宇宙へ -インスタントラーメンの誕生-
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	その子の世界、私の世界	その子の世界、私の世界
	D-(21)	感動、畏敬の念	働くことの喜びとは	ハッチを開けて、知らない世界へ
	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	合格通知
	A-(3)	向上心、個性の伸長	自ら社会参画を	ぼくにもこんな「よいところ」 がある
3月	D-(22)	よりよく生きる喜び	弱さと向き合って	足袋の季節

(3) 授業研究部における取組

① 基本的な授業の流れについて

道徳科の授業を進めるにあたり、令和5年度と令和6年度に愛知県みよし市の先進校視察を計5回行った。本校で伝達講習会と現職教育でさまざまな話し合いを行った。一貫性のある授業づくりの考え方について共通理解し、授業実践に取り組んできた。



ア 導入について

- ・本時の学習内容の理解と道徳的価値の位置づけをする。
- ・教材への導入。
- ・ICTを活用し、教材の内容を確認する。
→ デジタル教科書、ロイロノート、ポジショニング、フォームズなどの活用。

フォームズの活用例



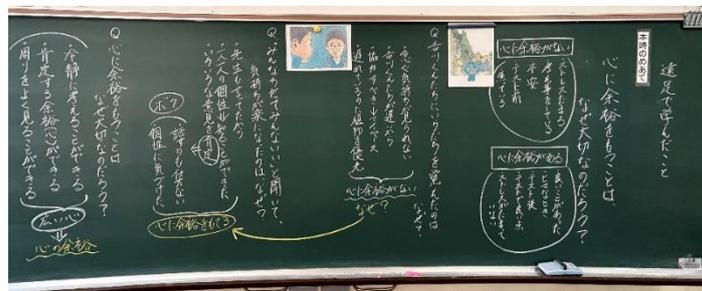
ICTを活用した心情円例

イ めあてについて

- ・めあての確認を行い、めあてに対する導入時での考え (before) を出させ、板書に書き残しておく。
- ・振り返りと同じ発問となるため、道徳的価値レベルに迫ることができるめあてを提示する。
- ・ねらいを理解し、道筋を立てて振り返りの時間までの流れを一本化する。
- ・議論が深まってきたときの着地点を明確に把握しておく。

ウ 範読について

- ・考えをより深める時間を確保するため、朝の読書の時間を利用するときもある。
- ・授業時間の確保のため、導入部分ではICTを活用し、教材の内容に触れる。

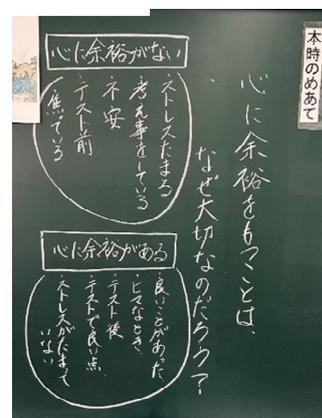


板書全体

エ 発問について

- ・授業開始後、20分前後までには中心発問を提示する。
- ・中心発問を行うまでの基本発問は、教材の読み取りにならないように留意する。
- ・より考えさせ、議論することができる発問となるよう工夫する。
- ・発達段階に応じた目標を設定し、それを達成するために議論し、道徳的価値に迫れるようにする。
- ・発問に必然性を持たせ、授業の流れやつながりを大切にする。
- ・問い返し、待つという姿勢、生徒と生徒をつなぐ、楽しく考え合う雰囲気を大切にする。

学びを深めるためのキーワードを生徒の発言の中から見つけ、生徒の中に疑問がうまれるように工夫する。そうすることで、話し合いがより深まり、生徒全員が考えるようにする。

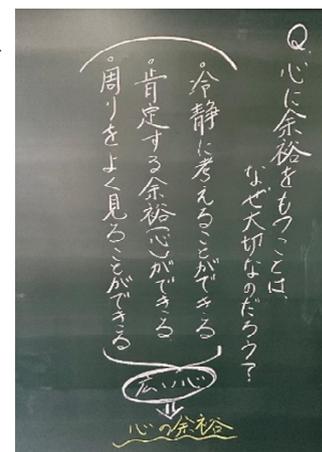


(before)

オ 振り返りについて

- ・めあてと同様の発問を行う。
- ・授業開始時 (before) と授業終了時 (after) が理解しやすいように板書を工夫する。
- ・教材の登場人物の理解や内容の読み取りにならないように、考えなければならない内容をおさえる。

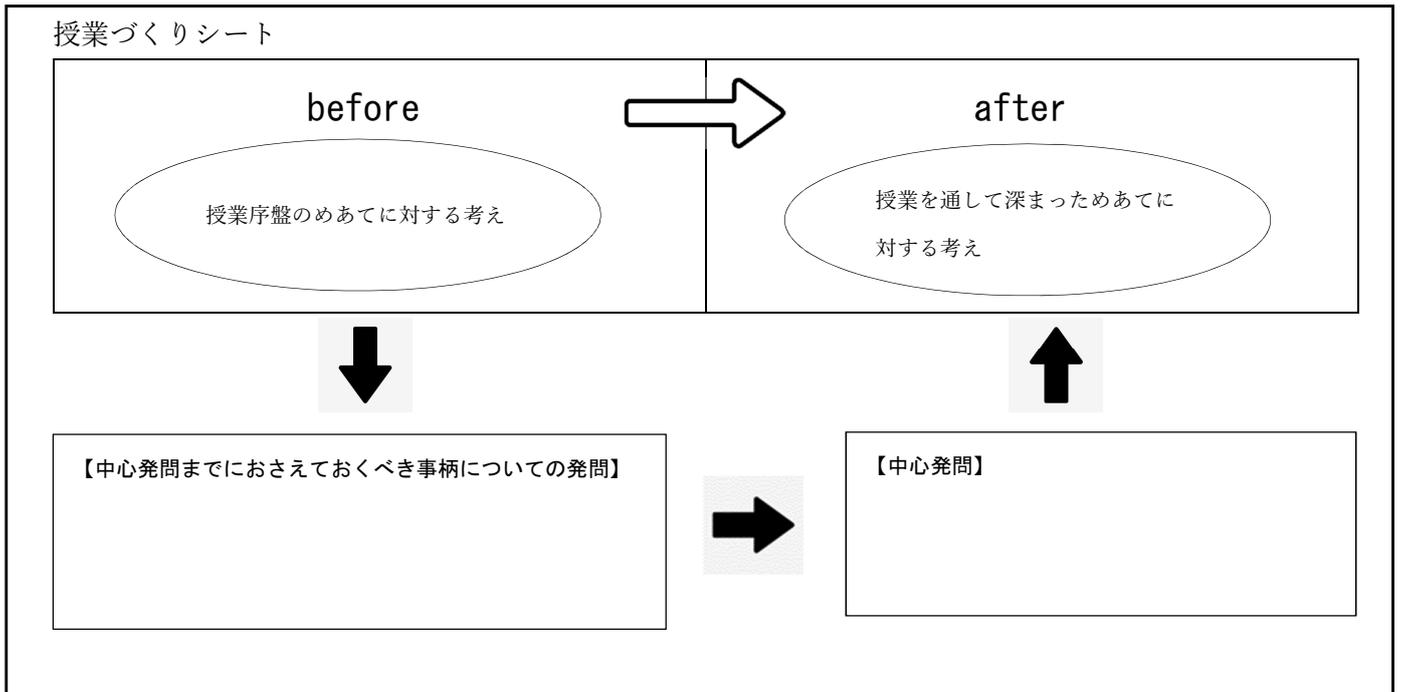
中学生では、行動の仕方や人として大切なものが十分に理解できている。しかし、自身の行動が誤った方向に向かうときがある。その内面的な部分に迫り、考えることができるようにする。



(after)

② 授業づくりシートの活用

道徳科の学習指導案を作成する前段階として、生徒の学びの姿を具体的にイメージするために、「授業づくりシート」を取り入れている。ここでは、生徒たちから新しい気づきや学びとして、どのような発言や振り返りの記述等が表れたら、ねらいに迫っているといえるのか想定する。そして、before（授業序盤のめあてに対する考え）から after（授業を通して深まっためあてに対する考え）へ生徒たちの意見・考えの変容が見られるように、逆算的に中心発問や補助発問を設定することを意識する。授業を通して生徒たちに気づかせたい道徳的価値を教師がより明確にするための一助としている。



6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 ○分	ねらいとする道徳的価値への方向付け 内容項目に関する発問	○教材への導入 ○道徳的価値への導入
展開 ○分	<p>めあて</p> <p>めあてに対する現時点での考え (before) を出させる。</p> <p>発問とセットで生徒の反応を想定して記述しておく。 生徒の言葉でねらいとする道徳的価値に迫れるようにする。</p> <p>↓</p> <p>中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるように、授業を通して深まっためあてに対する考え (after) を板書に残す。</p>	<p>○ ねらいに導く基本的な発問</p> <p>◎ 道徳的価値に迫る発問 (中心発問)</p> <p>☆ 生徒の考えを揺さぶり、考えに広がりや深まりをもたせる発問</p> <p>☆ 生徒の発言を一旦受け入れてから問い返し、生徒の発言がさらに深く醸成されることを意図して行う発問など</p> <p>○ 導入時の発問を展開の最後に再度発問し、生徒自身で考えの変容に気づかせる</p>
終末 ○分	めあてに戻り、中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるようにする。道徳的価値に迫り、自分ごととして振り返りにつなげる。	

7 評価について

8 板書計画

- ・ 教材名
- ・ めあて
- ・ めあてに対する現時点での考え (before)
- ・ 各発問に対する児童の考え→心の揺れや葛藤が見えるようにする
- ・ 授業を通して深まっためあてに対する考え (after)

道徳科学習指導案

令和6年11月20日(水) 第5校時

指導者 中村 宗稔

1 学 年 1年A組(男子21名 女子14名 計35名)

2 主題名 「だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して」

3 教材名 「ごみ箱をもっと増やして」(新訂 新しい道徳1 東京書籍)

4 ねらい

誰もがもっている「ばれなければちょっとくらいいいか」「自分には関係ない」という考えに流されてしまう弱い心を理解しつつも、ごみ箱の有無に関わらず、一人一人が自分たちの社会は自分たちでよくしていくという意識を持つことで、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、日々公德心を持って生活しようとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本教材は、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(10)「遵法精神、公德心」に該当するものである。公德心とは、社会の中で守るべき正しい行いを大切にしようとする気持ちである。ごみのポイ捨てという公德心を試される教材だからこそ、そこに存在する「ばれなければちょっとくらいいいか」「自分には関係ない」という弱い心を一人一人が乗り越えることで、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、その義務を果たすことで、より良い社会に生きる権利が存在している。

(2) 生徒の実態について

1年生の生徒たちは、素直で元気よく、男女共に仲が良かったため、グループの活動では周りの友達としっかり意見交換ができる集団である。物静かな生徒もいるが、一人一人がしっかりと自分の考えをもっており、進んで発表はしないものの、ワークシートに文章として表現することができる。

本学級には、公德心を持ち、規範意識を持って学校生活を送れている生徒もいれば、授業後の机上にたまった消しかすをそのまま手で払って床に落としているような公德心に欠けた行動をとる生徒も見受けられ、「まあいいか」「自分さえよければ」や「自分には関係ない」「誰かがやってくれる」という弱い心を乗り越えきれない部分がある。そのような、誰もがもっている思いや弱さを理解しつつも、一人一人が社会のルールやきまりに目を向け、よりよい社会をつくっていくために自分がどうあるべきかを考える姿が大切であると気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は、とある新聞への投稿と、それに対する3つの意見で構成されている。投稿者が短期留学で行った米国にはごみ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じている。ごみを持ち帰る啓発ポスターも目にするが、草むらなど人目につかない所には、ごみがポイ捨てされている。このことから、「街にごみ箱をもっと増やしたほうがよいのではないか。」と投稿者は思っている。この投書に対して、観光名所や公園には設置してほしい、ごみ箱の完全撤去を望む、環境を守るためにごみは持ち帰ろう、という意見が寄せられた。これらの意見を通して、一人一人が社会のルールやきまりに目を向け、よりよい社会をつくっていくために自分がどうあるべきかを考えることができる教材である。

6 本時の展開

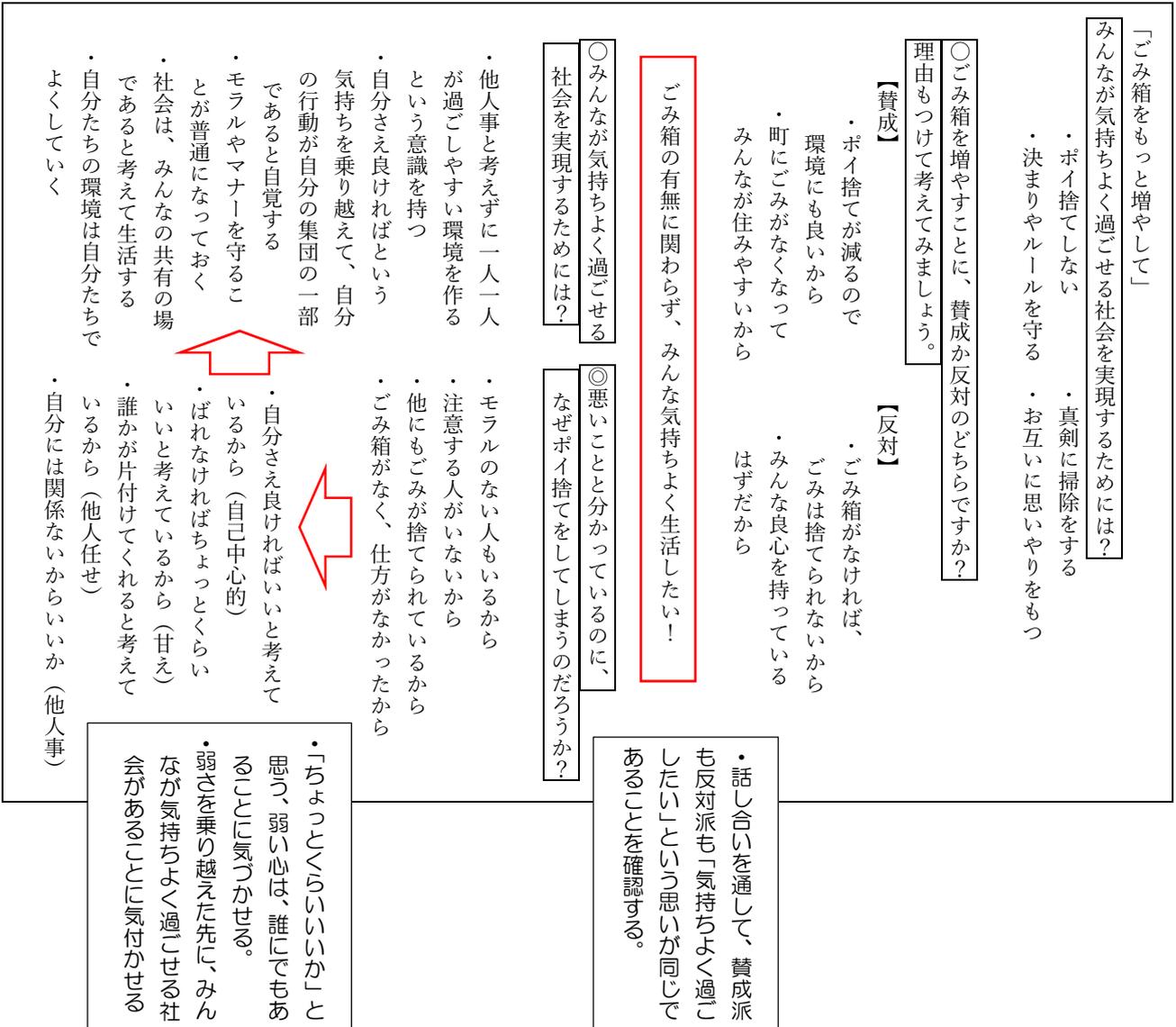
	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>1. みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためにはどうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てしない ・真剣に掃除をする ・お互いに思いやりを持つ ・決まりやルールを守る <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">○みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名する (全体で共有)
展開 40分	<p>2. 内容を確認しながら、教材について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">○ごみ箱を増やすことに、賛成か反対のどちらですか？理由もつけて考えてみましょう。</div> <p>【ごみ箱を増やすことに“賛成”】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てが減って、環境にもいいから ・ごみ箱があれば、ポイ捨てをすることもないから <p>【ごみ箱を増やすことに“反対”】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱がなければ、ごみは捨てられないから ・みんな良心を持っているはずだから <p>☆ごみを捨てたいとき、ごみ箱なかったら探すのめんどくさくない？</p> <p>☆多く設置したら、だれがどのようにそのごみを処理するのだろう？</p> <p>☆絶対にどっちが良いって決めきれないかな？</p> <p>☆賛成・反対、どちらの人にも共通する気持ちはあるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみのポイ捨ては、絶対にしてはいけない ・ごみ箱の有無に関わらず、みんな気持ちよく過ごしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを活用し、ロイロノートで手短かに内容を確認する ・全体での意見交流を行う ・自分の言葉で発表できるように教材は裏向けさせ、できるだけワークシートは見ずに発表させる。 ・賛成派・反対派のどちらにも「ごみ箱の有無に関わらず、み

	<p>◎投書のように、モラルに任せるという姿勢では限界があるのだろうか。悪いことと分かっているのに、なぜポイ捨てをしてしまうのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モラルのない人もいるから ・注意する人がいないから ・他にもごみが捨てられているから ・近くにごみ箱がなく、仕方がなかったから <p>【深めていく】</p> <p>☆「絶対にごみを捨ててやろう」という悪意を持って捨てているのだろうか？</p> <p>☆ポイ捨てをする人って、どんな気持ちでポイ捨てしてるんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分さえ良ければいいと考えている（自己中心的） ・ばれなければちょっとくらいいいと考えている（甘え） ・誰かが片付けてくれると考えている（他人任せ） ・自分には関係ないからいいか（他人事） <p>3. みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためにはどうすればよいか考える。</p> <p>○みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モラルやマナーを守ることが普通になっておく ・社会は、みんなの共有の場であると考えて生活する ・自分たちの環境は自分たちでよくしていく ・他人事と考えずに、一人一人が過ごしやすい環境を作るという意識を持つ ・自分さえ良ければという気持ちを乗り越えて、自分の行動が自分の集団の一部であると自覚する 	<p>んな気持ちよく生活したい」という気持ちは共通しているということをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体でわいわいがやがや交流できる雰囲気作りに努める。 <p>◇弱さを理解し、一人一人の公德心によって、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、日々公德心を持って生活することが大切だと気付く。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p> <p>今日の道徳と関連した今までの経験を含めて、自分が今まで公德心を持って行動できたと思ったときのことでも思い出して書いてみよう。</p>	

7 評価について

誰もがもっている「ばれなければいいか」「誰もみていないからいいか」「自分には関係ないから」という考えに流されてしまう弱い心や、一人一人の公德心によって、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることなどについて、自分事として考えている。（発言・ワークシート）

8 板書計画



道徳『ごみ箱をもっと増やして』

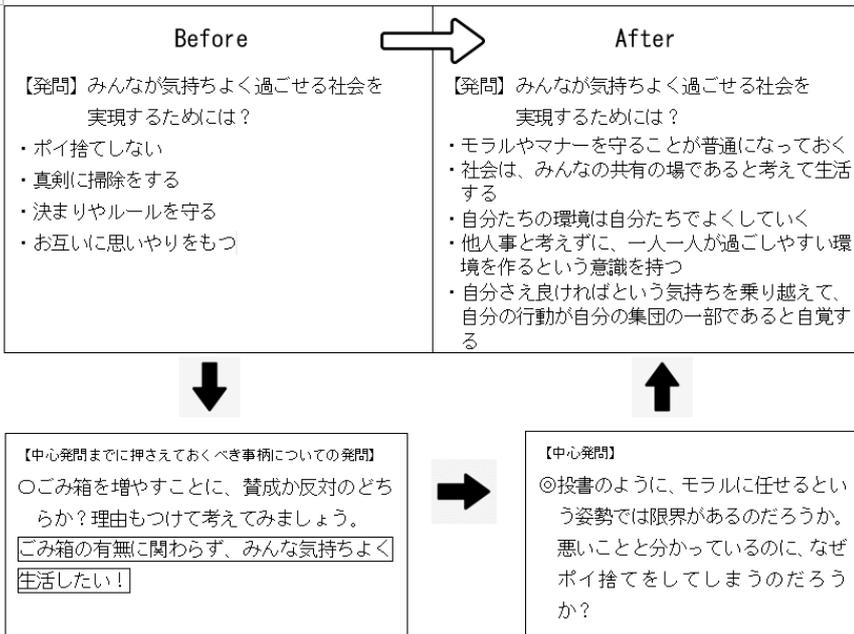
1年A組()番 氏名()

めあて: みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには?

賛成 or 反対

◇振り返り(今日の学習で学んだこと、考えたことを書こう)

授業づくりシート



公開授業案(道徳科授業プランニングシート)の作成

公開授業案(道徳科授業プランニングシート)を作成し、日頃から教師同士の授業を参観し、協議を行っている。また、この公開授業案(道徳科授業プランニングシート)を実践の成果として積み重ねることにより、次年度に同じ教材の授業をする際の参考、協議の材料とし、教師の授業力向上につなげている。

- 【道徳的価値をみとるポイント】**
- 生徒が、ねらいに向けて自分事として考えられていたか?
 - 生徒が、多面的・多角的に考えられていたか?
 - 生徒が、自分の生き方につなげて考えられていたか?

道徳科授業プランニングシート

授業日・時限 (令和〇年〇月〇日 (〇) 〇限)

<生徒が主役となる授業>

クラス(〇年〇組) 授業者(〇〇 〇〇)

主題名・内容項目

資料名

ねらい

主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値【価値観】、生徒の実態【生徒観】、教材の特質等【教材観】について)

授業展開

	学習活動	評価
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ねらいとする道徳的価値への方向付け</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <input type="radio"/> 教材への導入 <input type="radio"/> 道徳的価値への導入 </div>	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">発問とセットで生徒の反応を想定して記述しておく。 生徒の言葉でねらいとする道徳的価値に迫れるようにする。</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいに導く基本的な発問 ◎ 道徳的価値に迫る発問(中心発問) ☆ 生徒の考えを揺さぶり、考えに広がりや深まりをもたせる発問 ☆ 生徒の発言を一旦受け入れてから問い返し、生徒の発言がさらに深く醸成されることを意図して行う発問など ○ 導入時の発問を展開の最後に再度発問し、生徒自身で考えの変容に気づかせる </div>
終末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあてに戻り、中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるようにする。道徳的価値に迫り、自分ごととして振り返りにつなげる。</div>	

道徳科授業プランニングシート

授業日・時限（令和〇年 〇月〇〇日（火） 〇限 ）

<生徒が主役となる授業>

クラス（ 〇年〇組 ） 授業者（ 〇〇〇〇 ）

主題名・内容項目

規則の意義とは・C(10) 遵法精神、公德心

資料名

二通の手紙 ～新訂 新しい道徳3～

ねらい

元さんの行動と思いを考えることを通して、法や規則(ルール)についての意義を理解し、
社会の秩序と規律を高めていこうとする意欲を育てる。

主題設定の理由（ねらいとする道徳的価値【価値観】、生徒の実態【生徒観】、教材の特質等【教材観】について）

- ・元さんの姉弟への思いに共感することの大切さと、法や規則により自分たちの安全や生活が守られている側面があることに気づく。【価値観】
- ・学級のみならず、学年全体として穏やかな生徒が多く、校則等もきちんと守り集団としての規律も成立している様子が見られる。男子間、女子間よりも男女間の方が相手を思いやり、仲良くしているようにも感じられる。【生徒観】
- ・規則(ルール)の大切さは分かっている生徒がほとんどであるが、そんな中、元さんの思いや行動を感じながらも、改めて規則(ルール)とは何なのか、何のためにあるのかを考えさせたい。【教材観】

授業展開

	学習活動	評価
導入	<p>規則(ルール)は守るべきかどうかを考える。</p> <p>○規則(ルール)の意義とは何だろう。</p>	
展開	<p>「二通の手紙」を読んで元さんの立場になって考える。</p> <p>○あなたなら、幼い姉弟を動物園に入れますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 入れる ・弟の誕生日という特別な日だから。</p> <p><input type="checkbox"/> 入れない ・規則(ルール)で決まっていることだから。</p> <p>選択させ、その理由を書く。</p> <p>○あなたなら、元さんに対する処分に納得できますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 納得できる ・同じことを許すと事故が起こるかも。</p> <p><input type="checkbox"/> 納得できない ・姉弟やお母さんのためになったから。</p> <p>選択させ、その理由を書く。</p> <p>◎元さんが晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのはなぜだろう。</p> <p>・自分が行ったことに後悔はないから。・規則を破ったことは事実だから仕方ない。</p>	
終末	<p>○規則(ルール)の意義とは何だろう。</p> <p>授業の振り返りをする。</p>	<p>・規則(ルール)を守ることの意義を考え、今後自分がとるべき行動を深く考えることができている。</p>

④授業交流と教材研究・協議

道徳科の授業において、共通して取り組むこと

本校の道徳授業は、担任だけではなく各学年担当者全員が行っている。そのため、授業を行うにあたり、共通して取り組むことを決めている。

●授業計画(教材研究)段階

- (1) 小学校、中学校の発達段階に適した授業のねらいを設定するため、「学習指導要領解説 特別の教科道徳編」「内容項目ハンドブック」等の内容を踏まえた計画にする。
- (2) 生徒がしっかりと考え、発表し、話し合う時間を確保するため、中心発問は、授業開始20分前後までには提示できるように計画する。

●授業段階

「生徒の生きた発言・発表でねらいに迫る」

- (1) 生徒の発言を「つなぐ言葉」や「促す言葉」を用いて、教員はファシリテーター役に徹する。
- (2) 生きた言葉で発言させるため、生徒が書いたワークシートや教科書は、発言の際には机の中にしまわせる。
- (3) 黒板・ICTを活用して、議論や学びの深まりを可視化する。
- (4) 教室の机をコの字型にして、周りの生徒同士が話し合いやすい教室環境を作る。

相互の授業参観・協議

上記に示した共通項目を踏まえ、各自が授業計画を立てて授業を行う。その際、可能な限り、学年内で授業参観し、意見交流を行うようにした。また、生徒のワークシートも複数の教員が見られるようにしている。

研究授業等の際には指導案検討会を持ち、授業計画を学年担当で意見を交わしながら検討して作り上げるようにしている。



※別表にて別葉作成

(4) 全校における道徳性を育む取組

① 道徳科と教科等との関連(別業) 中学校1学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳 東書	項目/教科	国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
			光村	帝國	東書	啓林	啓林	東書	学研	東書	東書	教芸	日文				
4月	朝市の「おはようございます」	B-(7) 礼儀						「Friends in New Zealand」⑤ 「Let's Talk 1 お祝い」① 「Let's Talk 3 道案内」① 「Let's Talk 4 レストラン」①		「5」安全に利用するための情報セキュリティ①② 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか①② 「4」コンテンツのプログラムを制作しよう③④ 「5」問題解決の評価、改善・修正⑤⑥							
	いじめに当たるのはどれだろう	B-(9) 相互理解、寛容	「情報を的確に聞き取る」① 「聞き上手になろう」② 「話し合いの展開を図る」③ 「話し合いの展開を図る」④	「第1節 アジア州」⑥ 「第2節 ヨーロッパ州」⑦ 「第3節 アフリカ州」⑧ 「第4節 北アメリカ州」⑨ 「第5節 オセアニア州」⑩	「持続可能な社会の実現に向けて」① 「2」身近な地域の歴史」② 「導入の活動」③ 「1」世界の古代文明と宗教のおこり(後半)」④ 「地域の歴史を調べよう」⑤ 「導入の活動」⑥	「3」絶対値と数の大小」② 「1」関数」③ 「2」反比例のグラフ」④ 「1」比例、反比例の利用」⑤ 「1」データを活用して、問題を解決しよう」⑥		「Our New Teacher」⑤ 「Let's Listen 1 留学生のプロフィール」① 「Let's Listen 3 ラジオDJのトーク」①						入学式 A-(4) B-(7) 身体測定 A-(2) 授業参観・保護者会 B-(6) B-(7) B-(8) C-(12) C-(15) 避難訓練 A-(2) D-(19) 理科・産科検診 D-(19) 卒業式 A-(4) B-(8) 全校集会 A-(2)	新入生歓迎会 B-(8) 新入生オリエンテーション A-(2) 前期専門委員会儀式 C-(15) 新年度目標の設定 A-(4) 新年度組織の決定 C-(15)	防災学習 O-(19)	
	楽寿号に乗って	C-(12) 社会参画、公共の精神						「Think Globally, Act Locally」⑤	「2」スポーツへの多様な関わり方」① 「3」スポーツの多様な楽しみ方」② 「5」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」③ 「6」心の発達(2) 社会性の発達」④	「2」木材、金属、プラスチックの特性」① 「5」材料と加工の技術の工夫を読み取る」② 「1」問題を発見し、課題を設定しよう」③ 「1」材料と加工の技術の最適化」④ 「6」情報の技術の工夫を読み取る」⑤ 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか」⑥	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」② 「3」加工食品の特徴」③ 「4」食品の保存と食中毒の防止」④		「デザインや工芸との出会い」への暮らしを豊かに」① 「文字で伝えよう」② 「文字の基本」③ 「暮らしに息づく土の造形」④ 「書き物をつくる」⑤				
5月	傍観者でいいのか	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「少年の日の思い出」⑥		「地域の歴史を調べよう」⑥	「1」方程式の利用」⑤ 「1」比例の式」② 「3」図形の移動と基本の作図の利用」③ 「字ひを身につけよう」④		「Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji」②	「5」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」① 「7」自己形成」② 「8」欲求不満やストレスへの対処」③	「1」問題を発見し、課題を設定しよう」② 「1」材料と加工の技術の最適化」③ 「6」情報の技術の工夫を読み取る」④ 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか」⑤	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」② 「3」加工食品の特徴」③ 「4」食品の保存と食中毒の防止」④						
	席替え	C-(11) 公正、公平、社会正義			「1」節 武士の政權の成立」⑤	「3」絶対値と数の大小」② 「2」方程式の解き方」④				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」①②		「画の構成を感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」② 「主人は冷たい土の中に」③		教育相談 A-(3) 1年校外学習 B-(8) C-(15) 2年職場体験 C-(10) C-(4) 3年修学旅行 A-(10) B-(8) C-(15) 内科・耳鼻科検診 D-(19) 1学期中間考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	自分の個性を生きる A-(3) 校外学習の準備・計画 C-(15) 学校図書館の利用 A-(5)	防災学習 O-(19)	
	後世の人々に託す一瀆口懐紙	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「稽留に詠和する仮名(いろは歌)」②【書写】		「1」節 歴史をどう考えるか」④ 「2」節 身近な地域の歴史」② 「導入の活動」③ 「2」節 日本列島の誕生と大陸との交流」③ 「地域の歴史を調べよう」⑥ 「基礎・基本のまとめ」⑦ 「1」節 武士の政權の成立」⑤			「A Japanese Summer Festival」⑤					「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」⑥ 「日本の民謡」『生活や社会の中の音楽』『アジアの諸民族の音楽』『ソーラン節』 「日本の歌のよさや美しさをと感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」③ 「浜辺の歌(共通教材)」『赤とんぼ(共通教材)』『歌い継ぐ』				
6月	班での出来事	B-(8) 友情、信頼	「シンジュン」④ 「星の花が降るころに」⑤					「New School, New Friends」⑥ 「A Surprise Party」⑥	「4」性とう向き合うか」①								
	山に来る資格がない	A-(2) 節度、節制					「3」章 水溶液の性質」⑤	「Let's Talk 2 体罰」①	「1」健康の成り立ち」③ 「3」食生活と健康」④ 「4」休養・睡眠と健康」⑤ 「6」もっと広げる深める」⑥ 「6」もっと広げる深める」⑦ 「6」もっと広げる深める」⑧	「3」材料に適した加工方法」① 「3」製作の計画を立てよう」② 「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」④ 「1」専法の技術とは何だろうか」⑤ 「2」情報のデジタル化」⑥ 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」⑦	「1」家庭分算のガイダンス」② 「2」私たちの食生活」③ 「2」何をどのくらい食べればよいか」④ 「3」バランスの良い献立作り」⑤ 「3」バランスの良い献立作り」⑥				スポーツテスト A-(2) A-(3) 1学期期末考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	健康で安全な生活 A-(2)	防災学習 O-(19)
	短文投稿サイトに友達の手紙を書くと	B-(8) 友情、信頼	「シンジュン」④ 「星の花が降るころに」⑤						「New School, New Friends」⑥ 「A Surprise Party」⑥	「4」性とう向き合うか」①							
	決断！骨髄バンク移植第一号	D-(19) 生命の尊さ	「大人になれなかった僕たちに……」④				「自然の中にあふれる生命」⑤ 「2」章 動物の特徴と分類」⑥			「6」もっと広げる深める」⑥ 「6」もっと広げる深める」⑦ 「6」もっと広げる深める」⑧	「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」④ 「1」専法の技術とは何だろうか」⑤ 「2」情報のデジタル化」⑥ 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」⑦	「1」どうして食事をするのだろうか」① 「3」栄養素ってなんだろう」② 「4」中学生に必要な栄養」③ 「1」食品に含まれる栄養素」④ 「2」何をどのくらい食べればよいか」⑤ 「4」食品の保存と食中毒の防止」⑥ 「1」日常食の調理」⑦ 「2」野菜・果物の調理」⑧					
7.8月	古びた目覚まし時計	A-(2) 節度、節制					「3」章 水溶液の性質」⑤	「Let's Talk 2 体罰」①	「1」健康の成り立ち」③ 「3」食生活と健康」④ 「4」休養・睡眠と健康」⑤ 「6」もっと広げる深める」⑥ 「6」もっと広げる深める」⑦ 「6」もっと広げる深める」⑧	「3」材料に適した加工方法」① 「3」製作の計画を立てよう」② 「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」④ 「1」専法の技術とは何だろうか」⑤ 「2」情報のデジタル化」⑥ 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」⑦	「1」家庭分算のガイダンス」② 「2」私たちの食生活」③ 「2」何をどのくらい食べればよいか」④ 「3」バランスの良い献立作り」⑤ 「3」バランスの良い献立作り」⑥						
	ほくのふるさと	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「稽留に詠和する仮名(いろは歌)」②【書写】		「1」節 歴史をどう考えるか」④ 「2」節 身近な地域の歴史」② 「導入の活動」③ 「2」節 日本列島の誕生と大陸との交流」③ 「地域の歴史を調べよう」⑥ 「基礎・基本のまとめ」⑦ 「1」節 武士の政權の成立」⑤			「A Japanese Summer Festival」⑤				「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」⑥ 「日本の民謡」『生活や社会の中の音楽』『アジアの諸民族の音楽』『ソーラン節』 「日本の歌のよさや美しさをと感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」③ 「浜辺の歌(共通教材)」『赤とんぼ(共通教材)』『歌い継ぐ』		全校集会 A-(2) 1学期修学旅行 A-(10) B-(7) 中央専門委員会 C-(15) 地方・県夏季中体連総合体育大会 A-(4) B-(6)	生徒会総会 A-(1) C-(15) 1学期修学旅行 A-(10) B-(7) 中央専門委員会 C-(15) 委員・係活動の夏休み A-(1) 1学期の反省と夏休みの生活 A-(2)	防災学習 O-(19) 平和学習 D-(19)	
	町内会デビュー	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「少年の日の思い出」⑥		「地域の歴史を調べよう」⑥	「1」方程式の利用」⑤ 「1」比例の式」② 「3」図形の移動と基本の作図の利用」③ 「字ひを身につけよう」④		「Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji」②	「6」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」① 「7」自己形成」② 「8」欲求不満やストレスへの対処」③	「1」問題を発見し、課題を設定しよう」② 「1」材料と加工の技術の最適化」③ 「6」情報の技術の工夫を読み取る」④ 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか」⑤	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」② 「3」加工食品の特徴」③ 「4」食品の保存と食中毒の防止」④						
9月	選手に選ばれて	C-(10) 遵法精神、公徳心			「3」節 古代国家の争いと東アジア世界」⑧	「4」数の世界のひろがり」② 「2」文字式の表し方」③ 「3」式の解」④ 「3」関係を表す式」⑤ 「2」方程式の解き方」⑥ 「3」比例のグラフ」⑦ 「1」意味と図形」⑧ 「1」図形の移動」⑨				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」①② 「5」問題解決の評価、改善・修正」③④							
	今しかない	C-(11) 公正、公平、社会正義			「1」節 武士の政權の成立」⑤	「3」絶対値と数の大小」② 「2」方程式の解き方」④				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」①②		「画の構成を感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」② 「主人は冷たい土の中に」③					
	あなたはひかり	D-(19) 生命の尊さ	「大人になれなかった僕たちに……」④				「自然の中にあふれる生命」⑤ 「2」章 動物の特徴と分類」⑥			「6」もっと広げる深める」⑥ 「6」もっと広げる深める」⑦ 「6」もっと広げる深める」⑧	「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」④ 「1」専法の技術とは何だろうか」⑤ 「2」情報のデジタル化」⑥ 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」⑦	「1」どうして食事をするのだろうか」① 「3」栄養素ってなんだろう」② 「4」中学生に必要な栄養」③ 「1」食品に含まれる栄養素」④ 「2」何をどのくらい食べればよいか」⑤ 「4」食品の保存と食中毒の防止」⑥ 「1」日常食の調理」⑦ 「2」野菜・果物の調理」⑧					
	全校一を目指して	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実						「This Year's Memories」⑥ 「Stage Activity 3 My Favorite Event This Year」②	「6」心の発達(2) 社会性の発達」①						専任作業 C-(12) C-(15) 体育祭 A-(2) A-(4) C-(10) C-(15) 全校集会 A-(2)	中央(専門)委員会 C-(15)	地域課 C-(16) 地域の産業に触れる C-(16) 人権学習に向けて A-(3) C-(14)

(4) 全校における道徳性を育む取組

①道徳科と教科等との関連(別葉) 中学校1学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

Table with columns: 実施月, 道徳, 項目/教科, 国語, 社会(地理), 社会(歴史), 数学, 理科, 英語, 保健体育, 技術・家庭(技術), 技術・家庭(家庭), 音楽(一般), 美術, 学校行事, 特別活動, 総合的な学習の時間. Rows include activities like '本が泣いています', '風を感じてー村上清加のチャレンジー', '自分の性格が大嫌い!', 'ごみ箱をもっと増やして', '「どうせ無理」という言葉に負けない', '父母状', 'いのちって何だろう', '新しいプライド', '「看護する」仕事', '郷土を影る', '火の鳥', '靴', '山岳民族の文化を守る', '花に寄せて', '落語が教えてくれること', '桜に集う人の思い', '古都の裡、菓子心'.

中学校2学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	音楽(器楽)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
	東書	項目/教科																光村
4月	あいさつ	B-(7) 礼儀	「アイズプラネット」⑤ 「説明のしかたを工夫する」① 「気持ち込めて書く」④ 「話し合って考えを広げよう」⑤	「身近な地域の調査」⑤				UIFA Friend in a Sister School」⑧ Daily Scene1② U2/A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② U3/Career Day」⑧ Daily Scene3② Presentation「将来の夢」④ U3/Career Day」⑧			「小物作り」 ・幼児の生活と遊び							
	住みよい社会に	C-(12) 社会参画、公共の精神	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「小さな町のラジオ発」①															
	宇宙人	C-(13) 勤労	「多様な方法で情報を集めよう」⑥															
5月	我、ここに生きる	C-(13) 勤労	「多様な方法で情報を集めよう」⑥															
	田老の生徒が伝えたもの	A-(2) 節度、節制	「要点を整理して聞き取る」① 「敬語」①					U4/Homestay in the United States」⑧ U5/Universal Design」⑧ U7/The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の条件① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	3 生物育成①② 3 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギーの変換と利用③④	1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 2 私たちの衣生活と住生活⑤⑥ 3 生活を豊かにするために①・小物作り							
	あの子のランドセル	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「君は「最後の晩餐」を知っているか」④ 「表現のしかたを工夫して書く」⑤					U3/Career Day」⑧ Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④	【保健編】2健康と環境⑦ 3 交通事故の防止①	3 生物育成①② 2 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④ 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④	・日常食の調理 ・安全で安心な住まい ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 ・災害に備えた住まい方の工夫 ・中学生としての自立							
6月	ゴール	B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお揃い三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥					U2/A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④ U4/Homestay in the United States」⑧ Daily Scene4②	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の条件① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	3 生物育成①② 2 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④ 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「心の中にきらめいて」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「今日は君のBirthday」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル						
	宝塚方面行き-西宮北口駅-	C-(10) 遵法精神、公德心																
	注文を間違える料理店	B-(9) 相互理解、寛容	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「話し合って考えを広げよう」⑤ 「漢文の読解力を考える」① 「方言と共通語」②															
7.8月	つなぐ思い出-エルトワール号-	B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥					題材情報 UIFA Friend in a Sister School」⑧ U3/Career Day」⑧ U4/Homestay in the United States」⑧ U5/Universal Design」⑧ U7/The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の条件① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	3 生物育成①② 2 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④ 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④	1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 2 私たちの衣生活と住生活⑤⑥ 3 生活を豊かにするために①・小物作り							
	祭り夜	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「世界と比べた日本の地域的特色」① 「方言と共通語」② 「世界と比べた日本の地域的特色」② 「人口の特色」②③ 資源や産業の特色①④ 「地域間の結びつき」④ 「近世の日本」④⑤ 「産業の発達と幕府政治の動き」⑦ 「日本の地域特色」⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	「近世の日本」④⑤ 「導入」① 「近世の日本」④⑤ 「1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一」⑦ 「自然環境の特色」⑧ 「近世の日本」④⑤ 「江戸幕府の成立と鎖国」⑥ 「産業の発達と幕府政治の動き」⑦ 「近世の日本」④⑤														
	白ご飯を目指して一萩野公介	A-(2) 節度、節制	「要点を整理して聞き取る」① 「敬語」①					U4/Homestay in the United States」⑧ U5/Universal Design」⑧ U7/The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の条件① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	3 生物育成①② 3 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギーの変換と利用③④	1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 1 私たちの食生活⑤⑥ 3 調理と食文化②③ 2 私たちの衣生活と住生活⑤⑥ 3 生活を豊かにするために①・小物作り							
9月	みんなでとんだ!	B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお揃い三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥					U2/A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④ U4/Homestay in the United States」⑧ Daily Scene4②	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の条件① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	3 生物育成①② 2 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④ 2 エネルギー変換②③ 1 エネルギー変換と利用③④	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「心の中にきらめいて」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「今日は君のBirthday」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル						
	今度は私の番だ	C-(12) 社会参画、公共の精神	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「小さな町のラジオ発」①					U3/Career Day」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 3 犯罪被害の防止①									
	私のせいじゃない	C-(11) 公正、公平、社会正義	「走れメロス」⑥					UIFA Friend in a Sister School」⑧										
9月	闇の中の炎	C-(10) 遵法精神、公德心																

中学校2学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	音楽(器楽)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
	東書	項目/教科																光村
10月		「いいね」のために?	C-(10) 道法精神、公德心															
		左手でつかんだ音楽	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	「アイスプラネット」⑤ 「世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 読書案内」③		「開国と近代日本の歩み」② 「明治維新」② 「開国と近代日本の歩み」③ 「日清・日露戦争と近代産業」⑤												
		私は十四歳	A-(3) 向上心、個性の伸長	「一年間の学びを振り返ろう」⑥														
		はじめての練習試合	B-(9) 相互理解、寛容	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「話し合っって考えを広げよう」⑤ 「堂々とした意見を考えよう」① 「方言と共通語」②														
11月		四十七年に感謝をこめて	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	「表現のしかたを工夫して書こう」⑤ 「九州地方」⑤ 「中国・四国地方」⑤ 「近畿地方」⑤ 「中部地方」⑤ 「関東地方」⑥ 「東北地方」⑤		「4 近世の日本」② 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦												
		緑に	D-(19) 生命の尊さ	「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「扇の形」② 「走れメロス」⑥		「動物の生活と生物の進化」② 「生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「動物の生活と生物の進化」③ 「1 生物の体と細胞」⑤ 「動物の生活と生物の進化」② 「2 生命を維持するはたらき」① 「動物の生活と生物の進化」②												
		奇跡の一週間	D-(19) 生命の尊さ	「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「扇の形」② 「走れメロス」⑥		「動物の生活と生物の進化」② 「生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「動物の生活と生物の進化」③ 「1 生物の体と細胞」⑤ 「動物の生活と生物の進化」② 「2 生命を維持するはたらき」① 「動物の生活と生物の進化」②												
		風の後に	B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥														
12月		金福様さんのこと	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「君は最後の晩餐を知っているか」④ 「表現のしかたを工夫して書こう」⑤														
		本当の私	D-(22) よりよく生きる喜び	「科学はあなたの中にある」③														
		自分を信じて生きるとは...	D-(22) よりよく生きる喜び	「科学はあなたの中にある」③														
1月		普通バファーマスの挑戦	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	「見えにくいだけ」① 「アイスプラネット」⑤ 「裏表を整理して聞き取る」① 「数学」③ 「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「熟語の構成」② 「生物が記録する科学-バイオロギング」⑤	「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」① 「1 自然環境の特色」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」② 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」①	「4 近世の日本」② 「1 導入」① 「4 近世の日本」② 「1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一」⑦ 「4 近世の日本」② 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」② 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦												
		心に寄りそう	B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥														
		六千人の命のピザ	C-(18) 国際理解、国際貢献	「アイスプラネット」⑤ 「世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 読書案内」③ 「モアイは語る」⑤ 「漢詩の風景」③ 「君は最後の晩餐を知っているか」④	「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」① 「1 自然環境の特色」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」② 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」①	「4 近世の日本」② 「1 導入」① 「4 近世の日本」② 「1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一」⑦ 「4 近世の日本」② 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」② 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦												
2月		愛	B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥														
		冬の使者「マガン」	D-(20) 自然愛護	「モアイは語る」⑤ 「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」① 「1 自然環境の特色」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」② 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」①	「1 化学変化と原子・分子」② 「銀をつくる粒子」① 「化学変化と原子・分子」① 物質の成り立ち」② 「化学変化と原子・分子」② 「2 物質を表す記号」④ 「化学変化と原子・分子」③ 「3 ままのままの物質」①	「1 化学変化と原子・分子」② 「銀をつくる粒子」① 「化学変化と原子・分子」① 物質の成り立ち」② 「化学変化と原子・分子」② 「2 物質を表す記号」④ 「化学変化と原子・分子」③ 「3 ままのままの物質」①												
3月		ごめんね、おばあちゃん	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	「富士山」⑤ 「字のない東書」③														
		よりよいものを求めて-上山英一郎-	A-(5) 真理の探求、創造	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「メディアと上手に付き合うために」② 「漢詩の風景」③ 「根拠を明確にして書こう」③ 「科学はあなたの中にある」③	「1 式の計算」② 「1 式の計算」② 「1 式の計算」② 「2 文字式の利用」② 「1 式の計算」② 「基本のため」① 「算数問題 千恵万寿」② 「2 連立方程式」① 「1 連立方程式」② 「科学はあなたの中にある」③	「1 化学変化と原子・分子」② 「銀をつくる粒子」① 「化学変化と原子・分子」① 物質の成り立ち」② 「化学変化と原子・分子」② 「2 物質を表す記号」④ 「化学変化と原子・分子」③ 「3 ままのままの物質」①												

中学校3学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		国語	社会(歴史)	社会(公民)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	音楽(器楽)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間
	東書	項目/教科															
4月	青春号15が歩んだ道-黒田博樹-	D-(22) よりよく生きる喜び	「春」① 「春」④ 「想いのリレー」に加わろう② ・高瀬舟 「歌謡」⑤ 「君待つと一万葉-古今-新古今」② ・エルサルバドルの少女 ヘスース					LR「An Artist in the Arctic」⑥ 『資料編』 Further Reading 「Sato Mam」Making the Best of Life」	【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ① スポーツの文化的意義①					『表を預し求めて/夢を形にするデザイン③』 『折まれた折/仏像の種類②』			
	スイッチ	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「想いのリレー」に加わろう② 「読者のある文章を書こう」⑤ ・エルサルバドルの少女 ヘスース 「誰かの代わりに」⑤ 「わたしを兼ねないで」③						【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑤ 生活習慣病とその予防② 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑪ 性感感染症とその予防/エイズ②	④ 情報② ③ プログラムによる計測・制御⑥ ④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を旨として ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指す ・幼児との触れ合い体験	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう④ 『名づけられた果』		入学式 A-(4) B-(7) 身体測定 A-(2) 授業参観・師範会総会 B-(6) B-(7) B-(8) B-(9) C-(12) C-(15) 運動訓練 A-(2) D-(15) 眼科・歯科検診 D-(19) 春季選手権大会 A-(4) B-(6) 全校集会 A-(2)	新入生歓迎会 B-(6) 新入生オリエンテーション A-(2) 前期専門委員会模試 C-(15) 新年度目標の設定 A-(4) 眼科・歯科検診 D-(19) 春季選手権大会 A-(4) B-(6) 全校集会 A-(2)	修学旅行事前学習 B-(9) C-(11)	
	言葉おしめ	B-(7) 礼儀	「評価しながら聞く」① 「社会との関わりを伝えよう」④ 「文章の形態を選んで書く」① 「魅力的な紙面を作ろう」④ 「想いのリレー」に加わろう② 「言葉を選ぼう」① 「文法への扉」① 「話し合いを効果的に進めよう」①					DS「食事の会話」② DS「手紙」② DS「さそい」② DS「道案内」② DS「電話の会話」②	【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑩ 医薬品の有効利用①								
5月	無実の罪	C-(11) 公正、公平、社会正義	「想いのリレー」に加わろう② 「話し合いを効果的に進めよう」①	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ③ 軍国主義と日本の行方④ ⑦ 現在に続く日本と世界⑩ ② 世界の多様化と日本の成長⑤	① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②			US「Fair Trade Event」⑧ 『資料編』 Further Reading 「Malala Yousofzai」Education First」	【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ③ 人々を結び付けるスポーツ①①	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦ ④ 情報に関する技術② ④ 情報技術の評価・活用②	資料「フェアトレード」						
	ある日の午後から	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「想いのリレー」に加わろう② 「読者のある文章を書こう」⑤ ・エルサルバドルの少女 ヘスース 「誰かの代わりに」⑤ 「わたしを兼ねないで」③						【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑤ 生活習慣病とその予防② 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑪ 性感感染症とその予防/エイズ②	④ 情報② ③ プログラムによる計測・制御⑥ ④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を旨として ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指す	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう④ 『名づけられた果』	教育相談 A-(3) 1年校外学習 B-(8) C-(15) 2年職場体験 B-(3) C-(4) 3年修学旅行 A-(1) B-(8) C-(15) 内科・耳鼻科検診 D-(19) 1学期中間考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	自分の個性を考える A-(3) 校外学習の準備・計画 C-(15) 学校図書館の利用 A-(5) C-(11)	修学旅行 A-(2) B-(7) B-(8) B-(9) C-(11)		
	告ごこーヒー	C-(10) 道法精神、公德心	「評価しながら聞く」① 「社会との関わりを伝えよう」④ 「社説の言葉をとめる」② 「歌謡」⑤ 「君待つと一万葉-古今-新古今」② 「話し合いを効果的に進めよう」① 「短歌を立てて分けてみる」① ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・読書コラム 読書記録をつける	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ③ 軍国主義と日本の行方④	① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②			US「Living with Robots-For or Against」⑧ DS「レポート」② PG「中学校生活」④	【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑥ 喫煙と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑦ 飲酒と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 薬物乱用と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ①	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を旨として ・持続可能な社会を目指す	「ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」④ 『ルールを守って音楽を楽しもう！』					
6月	いじめから目をそむけない	C-(11) 公正、公平、社会正義	「想いのリレー」に加わろう② 「話し合いを効果的に進めよう」①	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ③ 軍国主義と日本の成長⑤	① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②			US「Fair Trade Event」⑧ 『資料編』 Further Reading 「Malala Yousofzai」Education First」	【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ③ 人々を結び付けるスポーツ①①	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦ ④ 情報に関する技術② ④ 情報技術の評価・活用②	資料「フェアトレード」						
	しあわせ	B-(9) 相互理解、寛容	「評価しながら聞く」① 「社会との関わりを伝えよう」④ 「社説の言葉をとめる」② 「歌謡」⑤ 「君待つと一万葉-古今-新古今」② 「話し合いを効果的に進めよう」① 「短歌を立てて分けてみる」① ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・読書コラム 読書記録をつける					US「Living with Robots-For or Against」⑧ DS「レポート」② PG「中学校生活」④	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦								
	スマホに夢中!	A-(2) 節度、節制	「話し合いを効果的に進めよう」① 「短歌を立てて分けてみる」① ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・読書コラム 読書記録をつける						【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ① スポーツの文化的意義① 【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ② 国際的なスポーツ大会とその役割①① 【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ③ 人々を結び付けるスポーツ①① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥	④ 情報に関する技術② ④ 情報技術の評価・活用②	③ 私たちの成長と家族・地域① 19.5 ② 幼児の生活と家族①① ④ 幼児の生活と家族① ② 幼児の生活と家族② ・幼児との触れ合い体験 ③ 私たちの成長と家族・地域① 19.5 ② 幼児の生活と家族② 2.5 ・幼児との触れ合い体験			スポーツテスト A-(2) A-(3) 1学期期末考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	健康で安全な生活 A-(2)	修学旅行発表に向けて B-(9)	
7.8月	好きな仕事か安定かなんている	C-(13) 勤労	「話し合いを効果的に進めよう」① 「短歌を立てて分けてみる」① ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・読書コラム 読書記録をつける						① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②								
	背筋をのばして	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	・高瀬舟 「君待つと一万葉-古今-新古今」② ・エルサルバドルの少女 ヘスース 「誰かのスープ」						① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②								
	早朝ドリブル	A-(2) 節度、節制	「話し合いを効果的に進めよう」① 「短歌を立てて分けてみる」① ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・読書コラム 読書記録をつける						① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②	④ 情報に関する技術② ④ 情報技術の評価・活用②	③ 私たちの成長と家族・地域① 19.5 ② 幼児の生活と家族① ④ 幼児の生活と家族① ② 幼児の生活と家族② ・幼児との触れ合い体験 ③ 私たちの成長と家族・地域① 19.5 ② 幼児の生活と家族② 2.5 ・幼児との触れ合い体験			全校集会 A-(2) 1学期終業式 A-(2) B-(7) 1学期夏季中体連総合体育大会 A-(4) B-(6)	生徒会総会 A-(1) C-(15) 中級社行会 B-(6) 中央専門委員会 C-(15) 委員・係活動の見直し A-(1) 1学期の反省と夏休みの生活 A-(2)	修学旅行発表 C-(13) 平和学習 D-(19)	
9月	二通の手紙	C-(10) 道法精神、公德心	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ③ 軍国主義と日本の行方④	① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②				US「Striving for a Better World」⑧ DS「レポート」②	【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑥ 喫煙と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑦ 飲酒と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 薬物乱用と健康① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ⑨ 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ①	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を旨として ・持続可能な社会を目指す	「ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」④ 『ルールを守って音楽を楽しもう！』		2学期始業式 A-(2) B-(7) 全校集会 A-(2)	後期専門委員会模試 C-(15)		
	加山さんの願い	C-(12) 社会参画、公共の精神	「想いのリレー」に加わろう② 「話し合いを効果的に進めよう」①						① 現代社会と私たちの生活①① 現代社会の特色と私たち⑤ ① 現代社会と私たちの生活①② 私たちの生活と文化③③ 現代社会の見方や考え方⑤ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦① 人権と日本国憲法⑤⑦ ② 個人の尊重と日本国憲法⑤⑦②								
	受けつがれる思い	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	「魅力的な紙面を作ろう」④ 「話し合って提案をまとめよう」⑤ 「誰かの代わりに」⑤ 「3年間の歩みを振り返ろう」⑥					U4「To Oue Future Generations」⑧ U6「Striving for a Better World」⑧ DS「レポート」②	【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ④ 健康の成り立ち① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥ ④ 健康の成り立ち①	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を旨として ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指す	「パートの役割を理解し、曲を生かして、表現を工夫しよう」④ 『嵐の中の青春』 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」② 『旗立の日に』	共同制作の魅力④				
9月	高く遠い夢	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	「故郷」⑤ 「3年間の歩みを振り返ろう」⑥	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ③ 軍国主義と日本の行方④				U6「Striving for a Better World」⑧ 『資料編』 Further Reading 「Sato Mam」Making the Best of Life」 『資料編』 Further Reading 「Malala Yousofzai」Education First」	④ 情報に関する技術② ② デジタル作品の設計・制作⑦	・消費者としての自覚 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験	「日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう」④ 『花の街』		専任作業 C-(12) C-(15) 体育祭 A-(2) A-(4) C-(10) C-(15) 全校集会 A-(2)	中央専門委員会 C-(15)	体育祭に向けて B-(9) C-(11)		
	生まれてきてくれて、ありがとう-助産師からのメッセージ-	D-(19) 生命の尊さ	・高瀬舟 「挨拶」② 「作られた「物語」を超えて」④	⑥ 二度の世界大戦と日本①⑦ ④ アジアと太平洋に広がる戦線⑤	③ これからの人権保障④ ④ これからの経済と社会④ ② きまぎらな国際問題⑤ ③ これからの地球社会と日本⑥	① 「生命の連続性」② 『つながる生命』 ① 「生命の連続性」② 『生物の成長とふえ方』⑦ ② 遺伝の規則性と遺伝子⑤ ③ 自然と人間⑤ ① 自然界のつり合い⑤	LR「A Mother's Lullaby」④ U4「To Oue Future Generations」⑧ LR「An Artist in the Arctic」⑥	【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ① スポーツの文化的意義① 【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ② 国際的なスポーツ大会とその役割①① 【体育編】 3.文化としてのスポーツ③ ③ 人々を結び付けるスポーツ①① 【保健編】 4.健康な生活と病気の予防⑥	・消費者としての自覚 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験								

中学校3学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		国語	社会(歴史)		社会(公民)		数学		理科		英語		保健体育		技術・家庭(技術)		技術・家庭(家庭)		音楽(一般)		音楽(器楽)		美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
	東書	項目/教科		光村	帝国	東書	啓林	啓林	東書	学研	東書	東書	教芸	教芸	日文													
10月		人間の命とは一人の命の尊さ、大切に考える	D-(19) 生命の尊さ	高瀬舟「挨拶」② 「作られた『物語』を超えて」④	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ ④ アジアと太平洋に広がる戦線⑤	『3 これからの人権保障』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『2 さまざまな国際問題』⑤ 『3 これからの地球社会と日本』⑥	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤	LR1『A Mother's Lullaby』④ U4『To Ours Future Generations』⑧ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』① 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『2 国際的なスポーツ大会とその役割』② 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『3 人々を結び付けるスポーツ』① 『保健編』4.健康な生活と病気の予	『幼児の生活と遊び』 『幼児との触れ合い体験』	『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『花の唄』																	
		医学を極める-華岡青洲-	D-(19) 生命の尊さ	高瀬舟「挨拶」② 「作られた『物語』を超えて」④	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ ④ アジアと太平洋に広がる戦線⑤	『3 これからの人権保障』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『2 さまざまな国際問題』⑤ 『3 これからの地球社会と日本』⑥	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤	LR1『A Mother's Lullaby』④ U4『To Ours Future Generations』⑧ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』① 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『2 国際的なスポーツ大会とその役割』② 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『3 人々を結び付けるスポーツ』① 『保健編』4.健康な生活と病気の予	『幼児の生活と遊び』 『幼児との触れ合い体験』	『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『花の唄』																	
		くちびるに歌をもて	D-(19) 生命の尊さ	高瀬舟「挨拶」② 「作られた『物語』を超えて」④	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ ④ アジアと太平洋に広がる戦線⑤	『3 これからの人権保障』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『2 さまざまな国際問題』⑤ 『3 これからの地球社会と日本』⑥	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤	LR1『A Mother's Lullaby』④ U4『To Ours Future Generations』⑧ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』① 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『2 国際的なスポーツ大会とその役割』② 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『3 人々を結び付けるスポーツ』① 『保健編』4.健康な生活と病気の予	『幼児の生活と遊び』 『幼児との触れ合い体験』	『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『花の唄』																	
		埴生の宿	B-(6) 思いやり、感謝	『握手』④ 高瀬舟「エルサルバドルの少女 ヘスス」 「獅の声」	『1 現代社会の特色と私たち』⑤ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 人権と共生社会』⑦ 『4 政府の役割と国民の福祉』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『1 国際社会の仕組み』⑤ 『2 さまざまな国際問題』⑤	『1 現代社会の特色と私たち』⑤ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 人権と共生社会』⑦ 『4 政府の役割と国民の福祉』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『1 国際社会の仕組み』⑤ 『2 さまざまな国際問題』⑤	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	DS4『道案内』② LR2『The Green Door』⑤	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『暮らしを心地よくするインテリア』③																	
11月		よみがえれ、日本海!	D-(20) 自然愛護	「作られた『物語』を超えて」④	『5 これからの経済と社会』④ 『2 さまざまな国際問題』⑤ 『1 経緯 より良い社会を目指して』⑤	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『生命の連続性』⑩ 『力だめし』① 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	U2『From the Other Side of the Earth』⑧		『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『花』 『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『早春賦』																	
		帰郷	B-(6) 思いやり、感謝	『握手』④ 高瀬舟「エルサルバドルの少女 ヘスス」 「獅の声」	『1 現代社会の特色と私たち』⑤ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 人権と共生社会』⑦ 『4 政府の役割と国民の福祉』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『1 国際社会の仕組み』⑤ 『2 さまざまな国際問題』⑤	『1 現代社会の特色と私たち』⑤ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 人権と共生社会』⑦ 『4 政府の役割と国民の福祉』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『1 国際社会の仕組み』⑤ 『2 さまざまな国際問題』⑤	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	DS4『道案内』② LR2『The Green Door』⑤	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『暮らしを心地よくするインテリア』③																	
		たとえはくばりに明日はななくとも	D-(19) 生命の尊さ	高瀬舟「挨拶」② 「作られた『物語』を超えて」④	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ ④ アジアと太平洋に広がる戦線⑤	『3 これからの人権保障』④ 『5 これからの経済と社会』④ 『2 さまざまな国際問題』⑤ 『3 これからの地球社会と日本』⑥	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤	LR1『A Mother's Lullaby』④ U4『To Ours Future Generations』⑧ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』① 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『2 国際的なスポーツ大会とその役割』② 『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『3 人々を結び付けるスポーツ』① 『保健編』4.健康な生活と病気の予	『幼児の生活と遊び』 『幼児との触れ合い体験』	『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『花』 『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』④ 『早春賦』																	
12月		日本の人々に勇気と自信を-フレッド・和田 勇-	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	『春に』① 「握手」④ 「雪が降りにこれを書け」② 「詳細ながら聞く」① 「社会との関わりを伝えよう」④ 「高まるメモクラナーの意識」④ 「漢字」① 「月の経路を探る」④ 「文章の形を覚えて書く」①⑦	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	U1『Pop Culture Then and Now』② U1『Pop Culture Then and Now』② P1『日本文化紹介』④ P2『修学旅行』④	『4 情報に関する技術』⑩ 『4 情報技術の評価・活用』②	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
		「マザー・テレサ」から学んだこと	D-(22) よりよく生きる喜び	『春に』① 「握手」④ 「新しいルール」に加わろう② 高瀬舟「敬謝」⑤ 「君待つと一万歳-古今-新古今」② エルサルバドルの少女 ヘスス	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	LR3『An Artist in the Arctic』⑥ 『資料編』Further Reading『Sato Mami: Making the Best of Life』	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』①	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
1月		鳥の心を伝えたい	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	『敬謝』⑤ 「権威を聴く」① 「話し合っって提案をまとめよう」⑤ 「温かいスープ」	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	U1『Pop Culture Then and Now』② U1『Pop Culture Then and Now』② P1『日本文化紹介』④ P2『修学旅行』④	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『アート体験する場に出かけよう!』 『日本の世界文化遺産/自然を愛でる空間』② 『デザインで読める現在と未来/魅力が伝わるパッケージ』⑤																	
		鳩が飛び立つ日-石井華子-	C-(10) 違法精神、公德心	『春に』① 「握手」④ 「新しいルール」に加わろう② 高瀬舟「敬謝」⑤ 「君待つと一万歳-古今-新古今」② エルサルバドルの少女 ヘスス	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	LR3『An Artist in the Arctic』⑥ 『資料編』Further Reading『Sato Mami: Making the Best of Life』	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』①	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
2月		日本から世界へ、そして宇宙へ-インスタントラーメンの振生-	A-(5) 真理の探求、創造	『春に』① 「握手」④ 「新しいルール」に加わろう② 高瀬舟「敬謝」⑤ 「君待つと一万歳-古今-新古今」② エルサルバドルの少女 ヘスス 「誰かの代わりに」⑤	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	U0『Countries around the World』② U1『Pop Culture Then and Now』② U1『Pop Culture Then and Now』② P1『日本文化紹介』④ P2『修学旅行』④ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
		ハッチを開けて、知らない世界へ	D-(21) 感動、畏敬の念	『春に』① 「握手」④ 「新しいルール」に加わろう② 高瀬舟「敬謝」⑤ 「君待つと一万歳-古今-新古今」② エルサルバドルの少女 ヘスス 「誰かの代わりに」⑤	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	U0『Countries around the World』② U1『Pop Culture Then and Now』② U1『Pop Culture Then and Now』② P1『日本文化紹介』④ P2『修学旅行』④ LR3『An Artist in the Arctic』⑥	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
3月		ぼくにもこんな「よいところ」がある	A-(3) 向上心、個性の伸長	『批評』の言葉をつめる② 「初志」① 「わたしを東ねないで」③	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	LR3『An Artist in the Arctic』⑥ 『資料編』名作鑑賞『The Letter』	『4 情報に関する技術』⑩ 『2 デジタル作品の設計・制作』⑦	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	
		足袋の季節	D-(22) よりよく生きる喜び	『春に』① 「握手」④ 「新しいルール」に加わろう② 高瀬舟「敬謝」⑤ 「君待つと一万歳-古今-新古今」② エルサルバドルの少女 ヘスス	『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『1 第一次世界大戦と民族独立の動き』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『2 高まるメモクラナーの意識』④ 『6 二度の世界大戦と日本』①⑦ 『3 軍国主義と日本の行方』④ 『6 一度の世界大戦と日本』①⑦ 『4 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦	『1 現代社会と私たちの生活』①⑦① 『現代社会の特色と私たち』⑤ 『1 現代社会と私たちの生活』①⑦② 『私たちの生活と文化』③③ 『3 現代社会の見方や考え方』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦① 『人権と日本国憲法』⑤ 『2 個人の尊重と日本国憲法』⑤⑦②	『生命の連続性』⑩ 『つながる生命』⑪ 『生命の連続性』⑩ 『1 生物の成長とふえ方』⑦ 『生命の連続性』⑩ 『2 遺伝の規則性と遺伝子』⑤ 『自然と人間』⑩ 『1 自然界のつり合い』⑤ 『化学変化とイオン』⑩ 『水素と酸素』	LR3『An Artist in the Arctic』⑥ 『資料編』Further Reading『Sato Mami: Making the Best of Life』	『体育編』3.文化としてのスポーツ③ 『1 スポーツの文化的意義』①	『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』① 『幼児の生活と遊び』 『2 幼児の生活と家族』② 『3 私たちの成長と家族・地域』19.5 『2 幼児の生活と家族』2.5 『幼児との触れ合い体験』 『モデルキー-消費と環境』	『美を探し求めて/夢を形にするデザイン』① 『「ゲルニカ」は語る』② 3-① 『問題意識を形に』⑥ 『ここでシャッターを切った理由/写真撮影の第一歩』② 『共同制作の魅力』④ 『家と野郎』『海の見える船』④																	

②異学年との交流

学年の壁を越えて、様々な取組を行う中で、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること」、特に「(1) 2) 社会参画、公共の精神、(13) 勤労、(15) よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識しながら活動することができた。

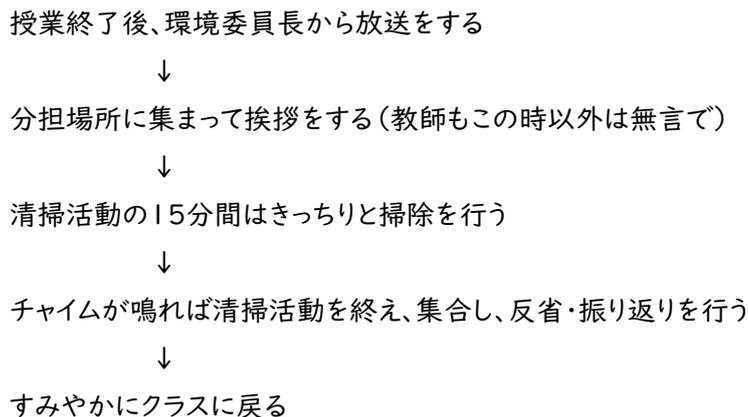
【無言清掃】

無言清掃は、2010年度から本校で進めている取組である。この無言清掃を通じて、「心を育てること」、「感謝の気持ちで素直に人と接することができるようになること」を目的としている。

《無言清掃、心の深まりの段階》

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① がまん清掃(無言) | 意志力を鍛え、自由の意味を理解する |
| ② みつけ清掃(すみずみ) | 協調性の精神を学ぶ |
| ③ 親切清掃(助け合い) | 創造力を発揮する |
| ④ 感謝清掃(心の内から) | 感謝の気持ちをもつ |
| ⑤ 正直清掃(心の内から) | 裏表のない人間に |

無言清掃の流れ



縦割りで班を作り、他学年の生徒と共に清掃活動を行うことで、3年生はリーダーシップを発揮しようと努力し、2年生は1年生の良き見本となるように努め、1年生は上級生の清掃に対する姿勢を学ぶことができ、みんなが熱心に清掃に取り組んでいる。

③道徳科と体験活動との関連行事(全体)

ア 体育祭

体育祭に向けて、内容項目「A主として自分自身に関すること(2)節度、節制、(4)希望と勇気、克己と強い意志」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(10)遵法精神、公德心、(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識することができる。

企画や運営から始まり、秩序と活気のある創造的な体育祭にしようとみんなで協力し、生徒たちは、集団の中で集団の一員としての自覚をもち、自分のなすべきことを考えて、自己の役割の自覚と責任を果たそうと努力していた。そのことが集団の向上だけでなく、自分自身の成長にもつながり、自分自身に誇りと自信をもつことができた。



イ 校内合唱大会

校内合唱大会を通して、内容項目「B主として人との関わりに関すること(6)思いやり、感謝、(8)友情、信頼」、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識することができる。クラスで歌声やハーモニーを合わせることは相手のことを感じることであり、自己中心的な考えや行動が減少し、クラスが一体となる。そしてこの一体感を作り上げている集団に自分自身がいると自覚することができた。



ウ 地域×防災 ワークショップ —中学生と地域住民でくらしをみつめる—

加茂地区、仁義地区の住民の方々と共に防災学習「地域×防災 ワークショップ」を多くの団体の方々の協力を得て実施した。これは、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること」を意識することができる。海南市危機管理課と企画したもので、南海トラフ地震や豪雨に備え、地域住民と生徒が共に防災について考える機会を設けることで、地域防災力を強化することがねらいである。自分たちの知らなかったことを地域のみなさんから聞き、地域のことをより詳しく知る機会になり、また防災について一緒に考えたことで、災害時には地域のみなさんと協力しようとする意欲をもつことができた。



エ 先輩に話を聞く会

地域人材を活用した教育講演会を実施している。毎年、講演内容は異なるが、昨年度は内容項目「A主として自分自身に関すること(4)希望と勇気、克己と強い意志」に関する講演であった。生徒たちからは「目標達成に向けて、苦しい時は一度離れるのも大事」という発言や、「一度離れても、やっぱりやり遂げることが大事」という発言があり、自分の目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもって、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げるることについて考えることができた。



④道徳科と体験活動との関連行事(学年)

ア 地域学習 1 年生

「地域学習」は、内容項目「C 主として集団や社会との関わりに関すること(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を意識して取り組んでいる。

地域学習の一環として、社会福祉協議会と連携し、「地域の方の仕事や生活について話を聞き、自分自身が暮らす地域に興味・関心をもつ」ことを目的としている。自分が当たり前と思っているものの中に、多くの地域の人たちのたゆまない努力や思いによって受け継がれているものがあることに気づくことができた。



イ 産業学習 1 年生

産業学習では、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労、(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を意識して取り組んでいる。

「海南市の産業」について、「ハローワークかいなん」の方から「働くということ」について、株式会社大和化学工業所代表取締役の方から「将来一人前の社会人になる

ために、今、感謝の心をもつ、掃除を真剣にする、挨拶を大きな声で丁寧にする、人の嫌がることを言わない・やらない、「ごめんなさい」が言えることを大切に最高の学級をつくってほしい」と話があった。生徒たちは、誰かの役に立つこと、地域社会のために貢献することが働くことの誇りになると気づき、将来の生き方について考えを深めることができた。



ウ 職場体験 2 年生

職場体験は、内容項目「A主として自分自身に関すること(1) 自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること(6) 思いやり、感謝、(7) 礼儀」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労」など、多くの道徳性を育むことができる体験である。「働く」ことを体験することで、自分を見つめ直し、新たな自分の発見に繋がる。

実施前には、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労」から、「宇宙人」という教材を用いて、働くうえで大切にすべきことについて考えた。「自分が働くときには誰かに頼るばかりではなく、自分からやりたいことに挑戦していきたい」や「若いうちにいろんな体験をして、自分に合う職業を見つけていきたい」など、仕事を選ぶうえで大切にすべき考えを深めることができた。



エ 障害者体験（高齢者疑似体験、ボッチャ体験、車イスバスケットボール）2年生

高齢者疑似体験、ボッチャ体験は、内容項目「B主として人との関わりに関すること(6)思いやり、感謝」を意識して取り組んでいる。高齢者疑似体験では、ゴーグルやオモリを身に付けて、擬似的に高齢者の目や身体の不自由さを実感した。障害による垣根を越えて誰でもできるスポーツ、ボッチャの体験では、心身に障害があっても、その人に応じた合理的配慮を行えば、老若男女共に楽しめることを学び、障害のある方について理解を深めることができた。



オ 修学旅行 3年生

修学旅行は、内容項目「A主として自分自身に関すること(1)自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること(8)友情・信頼」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識して取り組んでいる。



生徒たちは、修学旅行を通して、仲間と協力することの素晴らしさや集団の中で自分の役割を果たすことの喜びなどを感じることができた。

カ 思春期体験学習 3年生

思春期体験学習は、内容項目「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること(19)生命の尊さ」を意識して取り組んでいる。

助産師さんからは、「命の神秘さと大切さ」「出産や思春期の心と身体の発達」について、保健師さんからは、「赤ちゃんの成長」についてのお話を聞かせていただいた。

さらに、赤ちゃん人形抱っこ体験と妊婦体験を行い、妊婦(母親)の大変さを、身をもって経験した。



⑤道徳的実践の場とした委員会活動の充実

下津第二中学校では、学級委員会、生活委員会、体育委員会、保健委員会、環境委員会、安全委員会、福祉委員会、文化図書委員会の8つの専門委員会があり、学級委員会は生徒会執行部（会長、男子副会長、女子副会長、書記）、専門委員会はそれぞれの専門委員長を中心に、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること（15）よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識した特色ある委員会活動を行っている。

各専門委員会は、1年生から3年生までのすべての生徒が所属し、学年を超えた交流の場となっている。また、学年の違う生徒たちがよりよい学校生活の創造を目指して共に考え、共に活動する委員会活動は、内容項目「A主として自分自身に関すること（1）自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること（9）相互理解、寛容」を意識したものでもあり、どの学年の生徒にとっても、大きく成長する機会となっている。

ア 本校の生徒会活動について

・目標

自主性・創造性を体験的に学ばせ、さらに民主的な集団活動を構築しようとする生徒を育てる。

・目標達成のために

学校生活の上で生じる問題を常に自分の問題として捉えることができるように、同じく、学級内の問題を学年・全校で考え取り組むことのできるよう組織を構成し、活性化させる。専門委員会・執行部会・学級委員会を定期的に行い、それらの問題解決に当たる。

・専門委員会の充実

計画的な活動、全校生徒縦割りの構成員による活動を通して、生徒間の連帯感を育てることを目指す。

イ 各専門委員会の活動について

・学級委員会

朝、学校玄関前に立つあいさつ活動を中心に、学校周りの清掃やベル着チェックなどを行っている。

・生活委員会

整理整頓を呼びかけ、ロッカーチェックなどを行っている。

・体育委員会

スポーツに関する新聞を発行するほか、グラウンドの草抜きなどの環境整備を行っている。

・保健委員会

感染症対策を呼びかけ、ハンカチチェックや爪チェックなどを行っている。

・環境委員会

環境に関するポスターの製作や朝掃除、全校清掃時の見回りなどを行っている。

・安全委員会

交通安全アンケートの実施や自転車の鍵抜きチェックなどを行っている。

・福祉委員会

全校生徒に呼びかけ、テトラパックの回収、募金活動などを行っている。

・文化図書委員会

図書の貸し出し作業や、様々な文化を紹介するポスターの作成などを行っている。

学級委員会によるあいさつ活動



生活委員会によるロッカーチェック



体育委員会による全校草抜き活動



保健委員会による爪チェック



環境委員会による朝掃除



安全委員会による自転車の鍵抜きチェック



福祉委員会による募金活動



文化図書委員会による図書の貸出作業

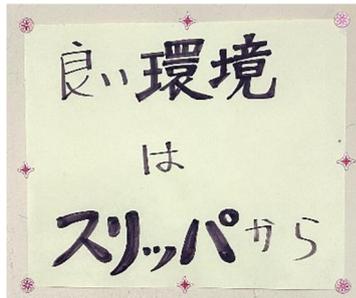


⑥道徳性を養う環境整備

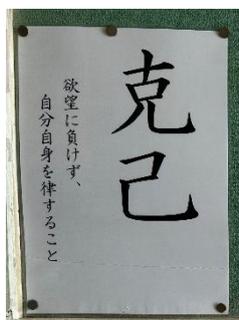
「環境が人を育てる」と言われるように、道徳性を養い、豊かな心を育てるため、教室だけでなく、生徒たちの目に触れる廊下やトイレなどに掲示物の工夫を施している。

【内容項目 A 主として自分自身に関すること】

A(2) 節度、節制

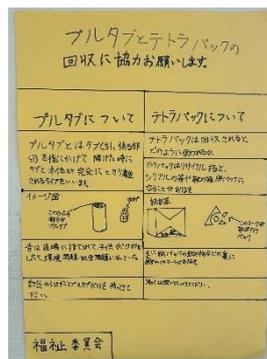
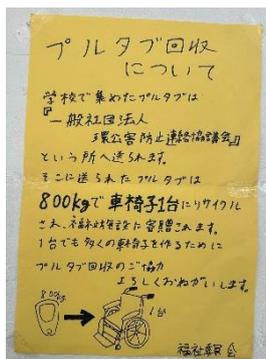


A(4) 希望と勇気, 克己と強い意志



【内容項目 C 主として集団や社会との関わりに関すること】

C(12) 社会参画, 公共の精神



福祉委員会が作成したプルタブ、テトラパックの回収協力を求めるポスター。

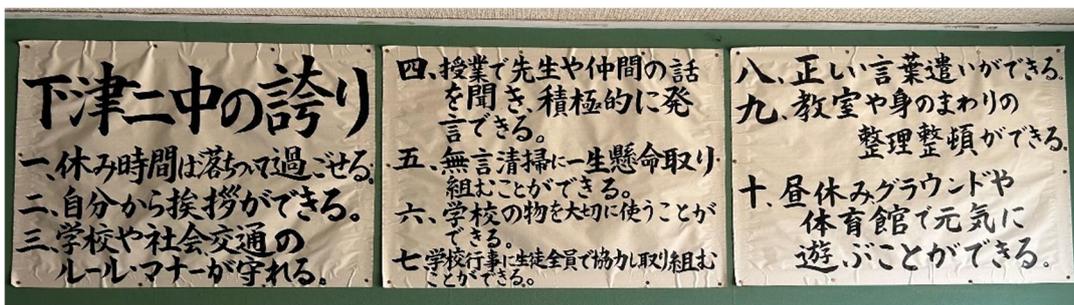
プルタブは 8000 kg で車椅子 1 台になる。

C(13) 勤労



2年生の教室前には職場体験についてのパワーポイントの資料が掲示されており、様々な業種があることを知ることが出来る。

C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実



【内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】

D(19) 生命の尊さ



III 研究の成果と課題

2年間の研究や取組における成果と課題

本校が2年間取り組んできた道徳科研究において、道徳教育に対する生徒の実態を把握し、変容を考察する手立てとして、生徒への道徳アンケートを活用した。

生徒への道徳アンケートの結果から見えてきた本校生徒の実態として、以下のことが挙げられる。

- ・道徳科の授業を肯定的にとらえ、前向きに取り組んでいる生徒が多い。
- ・どの学年においても級友と交流し、相手の考えをよく聞きながら自分の考えを深めようと取り組んでいる。
- ・自分事として考えることが増えてきた。

- ・挙手して発表することに対し消極的な生徒もいるが、自分の考えをしっかり持ち、文章で表現することができている。

- ・全体的にアンケート項目の数値は高いが、普段の学校生活の中で自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任を持つことができない生徒もいる。

上記の生徒の実態を踏まえ、本研究の成果と課題を下記の2つの視点から考察していきたいと思う。

- (1) 道徳科教育に関する生徒アンケート(令和5年度1月と令和6年度6月実施)からの考察(全校生徒の変容)
- (2) 道徳科教育に関する教職員アンケート(令和5年度1月と令和6年度6月実施)からの考察(教職員の変容)

(1) 生徒への道徳アンケートからの考察

令和6年度生徒への道徳アンケート結果

令和6年6月28日実施

	1年	2年	3年	学校
回答数	34	31	33	98

問1 道徳科の勉強はためになると思う。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	25	25	28	78	80%	98%
2 どちらかといえば思う	8	5	5	18	18%	
3 どちらかといえば思わない	0	0	0	0	0%	2%
4 思わない	1	1	0	2	2%	

98

問2 道徳科では、これまでの自分の経験と比べて考えること等を通して、自分とのかかわりで考えている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	21	17	21	59	60%	93%
2 どちらかといえば思う	9	12	11	32	33%	
3 どちらかといえば思わない	3	2	1	6	6%	7%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問3 道徳科では、人や状況によっていろいろな感じ方や考え方に気づき、様々な角度から自分の考えを深めようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	22	21	23	66	67%	95%
2 どちらかといえば思う	8	9	10	27	28%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	0	4	4%	5%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問4 道徳科では、自己や社会のために、よりよく生きていこうとする考えを深めている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	24	22	24	70	71%	95%
2 どちらかといえば思う	6	8	9	23	23%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	0	4	4%	5%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問5 道徳科で学習したことを、家族と話したことがある。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	13	10	8	31	31%	46%
2 どちらかといえば思う	4	6	4	14	14%	
3 どちらかといえば思わない	6	5	8	19	19%	54%
4 思わない	11	10	13	34	34%	

98

問6 自ら考えて行動し、結果に責任をもとうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	20	20	17	57	58%	92%
2 どちらかといえば思う	11	8	14	33	34%	
3 どちらかといえば思わない	2	3	2	7	7%	8%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問7 節度を守り、節制に心がけ、望ましい生活習慣を身につけようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	18	17	20	55	56%	92%
2 どちらかといえば思う	14	10	11	35	36%	
3 どちらかといえば思わない	1	3	2	6	6%	8%
4 思わない	1	1	0	2	2%	

98

問8 自分の長所と短所を知り、短所を直し、長所をのびそうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	19	19	21	59	60%	90%
2 どちらかといえば思う	10	8	11	29	30%	
3 どちらかといえば思わない	4	3	0	7	7%	10%
4 思わない	1	1	1	3	3%	

92

問9 より高い目標に向かって、あきらめずに取り組もうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	22	19	21	62	63%	90%
2 どちらかといえば思う	9	7	10	26	27%	
3 どちらかといえば思わない	2	5	2	9	9%	10%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問10 疑問に思ったことは納得いくまで調べ、新しいものを生みだそうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	18	14	15	47	48%	80%
2 どちらかといえば思う	10	9	12	31	32%	
3 どちらかといえば思わない	3	8	6	17	17%	20%
4 思わない	3	0	0	3	3%	

98

問11 だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	21	20	23	64	65%	94%
2 どちらかといえば思う	9	10	9	28	29%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	1	5	5%	6%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問12 自分の生活が、多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、自分ができるところをしようと思う。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	22	22	22	66	67%	97%
2 どちらかといえば思う	9	9	11	29	30%	
3 どちらかといえば思わない	1	0	0	1	1%	3%
4 思わない	2	0	0	2	2%	

98

問13 あいさつなど、時と場を考えた言動を心がけている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	20	21	22	63	64%	92%
2 どちらかといえば思う	10	8	9	27	28%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	2	6	6%	8%
4 思わない	1	1	0	2	2%	

98

問14 友達と互いに信頼し、高め合おうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	27	24	20	71	73%	96%
2 どちらかといえば思う	4	7	12	23	23%	
3 どちらかといえば思わない	1	0	1	2	2%	4%
4 思わない	2	0	0	2	2%	

98

問15 自分とちがう考えや意見を大切にし、謙虚に学び、自分を高めようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	21	19	20	60	61%	92%
2 どちらかといえば思う	8	11	11	30	31%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	2	6	6%	8%
4 思わない	2	0	0	2	2%	

98

問16 社会のきまりの意義を理解し、進んで守ろうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	23	18	21	62	63%	93%
2 どちらかといえば思う	7	11	11	29	30%	
3 どちらかといえば思わない	2	2	1	5	5%	7%
4 思わない	2	0	0	2	2%	

92

問17 差別や偏見をもつことなく、誰に対しても公平に接するようになっている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	18	22	20	60	61%	95%
2 どちらかといえば思う	13	8	12	33	34%	
3 どちらかといえば思わない	1	1	1	3	3%	5%
4 思わない	2	0	0	2	2%	

98

問18 社会の一員としてよりよい社会を実現するために行動しようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	19	17	18	54	55%	94%
2 どちらかといえば思う	11	13	14	38	39%	
3 どちらかといえば思わない	3	1	1	5	5%	6%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問19 働くことについて理解し、自分の役割や将来の生き方について考えようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	19	20	19	58	59%	91%
2 どちらかといえば思う	10	9	12	31	32%	
3 どちらかといえば思わない	1	2	2	5	5%	9%
4 思わない	4	0	0	4	4%	

98

問20 家族の一員として、自分がすべきことに積極的に取り組もうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	18	17	14	49	50%	90%
2 どちらかといえば思う	12	11	16	39	40%	
3 どちらかといえば思わない	3	3	3	9	9%	10%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

98

問21 学級や学校などの集団の一員として、自分の役割と責任を果たそうとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	21	22	15	58	59%	95%
2 どちらかといえば思う	9	8	18	35	36%	
3 どちらかといえば思わない	2	0	0	2	2%	5%
4 思わない	2	1	0	3	3%	

問22 地域社会の一員として、自分の町と積極的に関わり、自分ができることをしようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	17	17	11	45	46%	84%
2 どちらかといえば思う	13	9	15	37	38%	
3 どちらかといえば思わない	3	4	6	13	13%	16%
4 思わない	1	1	1	3	3%	

問23 地域を大切にすることについて、自分のこととして考えている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	20	19	15	54	55%	86%
2 どちらかといえば思う	9	6	15	30	31%	
3 どちらかといえば思わない	3	5	2	10	10%	14%
4 思わない	2	1	1	4	4%	

問24 地域社会の一員として、自分の町を大切にすることについて、多様な面から考えている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	18	18	13	49	50%	81%
2 どちらかといえば思う	10	7	13	30	31%	
3 どちらかといえば思わない	4	5	7	16	16%	19%
4 思わない	2	1	0	3	3%	

問25 日本の伝統と文化を大切にしようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	20	18	16	54	55%	88%
2 どちらかといえば思う	9	11	12	32	33%	
3 どちらかといえば思わない	3	0	4	7	7%	12%
4 思わない	2	2	1	5	5%	

問26 他国の人々や文化について知り、尊重しようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	19	20	16	55	56%	90%
2 どちらかといえば思う	8	9	16	33	34%	
3 どちらかといえば思わない	5	1	1	7	7%	10%
4 思わない	2	1	0	3	3%	

問27 命はかけがえないものだと思う。(自分・他人・動物・植物)

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	29	29	25	83	85%	99%
2 どちらかといえば思う	4	2	8	14	14%	
3 どちらかといえば思わない	1	0	0	1	1%	1%
4 思わない	0	0	0	0	0%	

問28 自然のすばらしさを感じ、大切にしたいと思う。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	28	27	25	80	82%	100%
2 どちらかといえば思う	6	4	8	18	18%	
3 どちらかといえば思わない	0	0	0	0	0%	0%
4 思わない	0	0	0	0	0%	

問29 美しいものに感動したり、人間の力を越えたものに対して偉大だと感じたりする。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	24	25	21	70	71%	97%
2 どちらかといえば思う	9	4	12	25	26%	
3 どちらかといえば思わない	0	2	0	2	2%	3%
4 思わない	1	0	0	1	1%	

問30 自分の弱さを知り、それを克服しようとする生き方をしようとしている。

	1年	2年	3年	全体		
1 思う	20	22	18	60	61%	95%
2 どちらかといえば思う	13	7	13	33	34%	
3 どちらかといえば思わない	0	1	2	3	3%	5%
4 思わない	1	1	0	2	2%	

本校では、道徳アンケートを令和5年度から計3回実施した。ここでは令和5年度と令和6年度の結果から検証した。

設問① 道徳科の勉強はためになると思う。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	80%	19%	1%	0%
	99%		1%	
令和6年度	80%	18%	0%	2%
	98%		2%	

設問⑥ 自ら考えて行動し、結果に責任をもとうとしている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	46%	52%	2%	0%
	98%		2%	
令和6年度	58%	34%	7%	1%
	92%		8%	

令和6年度6月のアンケートでは、30の質問項目のうち、24の質問項目において、回答が「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」という肯定的な回答が90%を超えており、生徒は全体的に道徳科の授業を肯定的にとらえ、前向きに取り組んでいることが伺える。特に令和6年度の設問①「道徳科の勉強はためになると思う」では、高い数値の割合で肯定的な回答をしている。令和5年度に比べて令和6年度の方が数値は下回るものもあるが、多くの質問において肯定的な回答である。設問⑥の回答にもあるように、授業後の生徒の感想の内容からも、道徳科の授業で学んだことをさらに自らの行動に置き換え、責任を持った行動をしようと考えられている様子が伺える。

設問⑪ だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとしている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	61%	35%	4%	0%
	96%		4%	
令和6年度	65%	29%	5%	1%
	94%		6%	

設問⑭ 友達と互いに信頼し、高め合おうとしている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	65%	32%	3%	0%
	97%		3%	
令和6年度	73%	23%	2%	2%
	96%		4%	

設問⑰ 差別や偏見をもつことなく、誰に対しても公平に接するようにしている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	59%	37%	4%	0%
	96%		4%	
令和6年度	61%	34%	3%	2%
	95%		5%	

設問⑪⑭⑰に対しても、肯定的な回答が多い。本校生徒は、生徒会活動や体育祭、合唱大会などで、上級生が下級生によい見本を示し、活発に活動する機会が多い。入学以来、学年・学級での活動において、上級生の活躍を手本にしながら、それぞれの生徒が自分たちができることを見つけ、前向きに取り組むことができている。時には考え方の違いから意見がぶつかり合うこともあるが、様々な取組を3年間積み上げている。級友のことを考えた行動ができたり、協力してお互いを高めようとしたりする姿勢は、道徳科の授業で身に付けた「他者に対する思いやりの心」や「公正・公平な考え」が様々な場面で活かされているのではないかと考える。

設問⑳ 地域社会の一員として、自分の町と積極的に関り、自分ができるところをしようとしている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	33%	48%	16%	3%
	81%		19%	
令和6年度	46%	38%	13%	3%
	84%		16%	

設問㉑ 地域を大切にすることについて、自分のこととして考えている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	38%	45%	16%	1%
	83%		17%	
令和6年度	55%	31%	10%	4%
	86%		14%	

設問㉒ 地域社会の一員として、自分の町を大切にすることについて、多様な面から考えている。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	34%	50%	14%	2%
	84%		16%	
令和6年度	50%	31%	16%	3%
	81%		19%	

地域と自分との関わり等についての設問⑳㉓㉔において、「3 どちらかといえば思わない」「4 思わない」という否定的な回答が他の設問に比べてやや多い結果となっている。本校では総合的な学習の時間や学級活動において、地域との連携を重視した取り組みを行っているが、アンケート結果に反映されていない部分がある。地域学習や地域での職場体験、社会福祉協議会と連携した人権教育等、現在行われている活動が道徳教育と教科横断的に取り組んでいけるよう指導する側も生徒も意識していきたい。道徳科の授業だけでなく、学校教育活動全体にわたりこれらのことを意識して指導し、生徒の道徳性の向上につなげていく必要があると考える。

設問⑤ 道徳科で学習したことを、家族と話したことがある。

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
令和5年度	18%	15%	30%	37%
	33%		67%	
令和6年度	32%	14%	19%	35%
	46%		54%	

令和5年度、6年度ともに否定的な回答が肯定的な回答を上回るのが設問⑤「道徳科で学習したことを、家族と話したことがある」である。

中学生は思春期に入り、小学生の頃と比べて家族との会話も減り、道徳科の授業に関する会話だけでなく、学校での様子を家族に話すことが少なくなってきているのではないかと考える。この結果を踏まえて、本校では学年通信に加え、道徳通信を発行しました。道徳通信では実施した授業内容、道徳的価値、生徒の感想等を掲載し、学校での様子を保護者に伝えている。令和5年度に比べて令和6年度では、肯定的な回答が13ポイント上回る結果となっており、少しずつではあるが、取り組みの成果が表れてきている。また、授業中にワークシートへ自分の考えを毎時間記入しているが、それを共有する時間は限られているので、共有できていなかった級友の考え方を知る方法として道徳通信を活用している。自分の考えを深めたり、広げたりすることにもつながり、「家庭での会話のきっかけになれば」と考える。今後のアンケート結果にも表れてくるのではないかと期待する。

3 学年 道徳通信 3号 (10/2) 【加筆・修正あり】

「特別な教科 道徳」の学習をしました。

【教材名】「受けつがれる思い」

【よりよい学校生活、集団生活の充実】

【教材内容】主人公たちは、中学校に入学し、広いグラウンドでサッカーをしたいという気持ちからサッカー部をつくる活動を始めました。うまくいかないサッカー部の活動の中で、友達の言葉や他校との試合を通して、サッカー部の活動の意義や自分の役割に気づいた主人公たちが、活動を後輩たちに託そうとする気持ちを共感的に捉えて、よりよい学校生活や校風を築こうとする意欲や態度について考えることができる教材です。



～生徒の感想～「受けつがれる思い」

◆伝統は、「人々の思いを受け継いで創られていく」と思いました。一人の気持ちだけでなく、たくさんの人々の思いが一つになって、次世代に受け継がれていくと思います。私は、試合等はなかったけど、「私達の部活動も何かしら受けついでもらったのではないかと」思っています。

◆「先人達の思いで築きあげたことが、現代の人々へと継承されることで伝統というものが生まれるのだ」と思いました。これからは、もっと伝統の「物」や「こと」などを知って守っていきたいです。

◆昔の人や先輩が頑張ってきたことを受け継いでいき、また、後輩たちに教えていく。「伝統は、先に生きた人の努力なんだ」と思いました。この授業を通して、「受け継いできたことを大切にし、後輩に受けついでいこう」と思いました。

◆伝統は、色々な人が受け継いで創られていくことが分かった。「だから、下津二中の体育祭の行進もめっちゃ疲れるけど受け継いでいこう」と思った。

◆「伝統は、誰かが大変な思いをして創ったものだから、簡単に継ぐのを止めてはいけない」と思いました。この学校の伝統も、この学校がもっとよい学校になってほしいという先輩の思いからできていると思うので、継いでいきたいし、下津二中がなくなっても継いでいってほしいです。

【教材名】「高く遠い夢」【希望と勇気、克己（自分の感情・欲望・邪念などにうちかつこと）と強い意志】

【教材内容】本教材は、世界最高峰のエベレスト登頂を目指す作者が、さまざまな努力や工夫を重ねることで、自らを目標に近づける喜びやおもしろさを感じながら、目標を達成した充実感がつづられています。作者の経験に共感して、その心情や行動の在り方を生徒に深く考えさせることで、目標の実現のために困難に屈しない粘り強く最後まで着実にやり抜く強い意志と態度について考えを深めることができる教材です。



～生徒の感想～「高く遠い夢」

◆失敗しても、そこから立ち直る策を作って挑戦していったら、おのずと高い目標が現れ続けると思う。

◆少しずつ少しずつ目標を立てていき、それに失敗しても失敗から学び、少しずつ「できる」を増やしていく。「失敗したときにどうするか」「どのようにその目標を、どういう意図をもってやるか」など、深くしっかりと計画を立てておくモチベーションが大切なので、小さい目標を達成し、その喜びで気持ちを保っておく。

◆「目標がないと人は目指すものがなくなって努力をしなくなるから、目標を持つことが大事なのかな」と僕は考えた。

◆自分が立てた高い目標を達成するには、「地道なことを繰り返し、少しずつ目標に近づいていくことが大切だ」ということが学べた。そして、高い目標を達成する目前で諦めたり、心が折れてしまいうようなことがあったりしても、「今までの地道なことの繰り返しや練習を無駄にせず、達成するまで継続することが大切だ」ということも知れた。

◆目標を立てることは大切だと思うけれど、それだけでなく、「目標を達成するために毎日地味なことでも努力をし続け、後悔しないようにすることが大切だ」と思いました。また、「三浦さんのように思うようにいかず、先が思いやられるようなことがあっても決して諦めずに目標に向かって努力をしていきたいな」と思いました。

(2) 下津第二中学校教職員アンケートからの考察

下津第二中学校教職員アンケートは、教職員の道徳科への意識や指導の変容について知ることを目的として、令和5年度と令和6年度に1回ずつ実施した。

設問① 研究を始める前に比べて、道徳の授業を好きになりましたか。

	とても思う	やや思う	変わらない	やや嫌いになった	嫌いになった
令和5年度	9%	58%	8%	25%	0%
	67%		8%	25%	
令和6年度	9%	82%	9%	0%	0%
	91%		9%	0%	

設問② 研究を始める前に比べて、道徳の授業が楽しくなりましたか。

	とても楽しくなった	やや楽しくなった	変わらない	やや楽しくなくなった	楽しくなくなった
令和5年度	17%	33%	33%	9%	8%
	50%		33%	17%	
令和6年度	9%	73%	18%	0%	0%
	82%		18%	0%	

設問①②では、道徳科の授業に対する意識の変化が見られる。これは、道徳科の授業づくりにおいて基本的な授業の流れを明確にし、教員の切り返しの発問や問い返しの発問に対して、生徒がより深く考える姿を見取することで教職員の自信につながり、授業に対して前向きになったと考えられる。また、授業展開を考える際には、内容項目に応じたねらいやめあての設定、中心発問について教職員同士での協議が活発に行われるようになり、教職員全員が本研究主題である「夢や希望を持ち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育」に取り組むことができていると伺える。

設問③ 道徳の授業力は、研究を始める前に比べて、向上したと思いますか。

	とても思う	やや思う	変わらない	あまり思わない	全く思わない	わからない
令和5年度	8%	67%	17%	8%	0%	0%
	75%		17%	8%		0%
令和6年度	19%	45%	9%	18%	0%	9%
	64%		9%	18%		9%

設問③では、「とても思う」と回答した教員は増えたが、全体的に令和5年度よりも低下していると読み取れる。これは、生徒の発達段階に応じた目標設定を意識するからこそ、より授業の展開や発問の難しさを感じていると考えられる。

設問④ 研究を始める前に比べて、ファシリテーター役を担えていると思いますか。

	とても思う	やや思う	変わらない	あまり思わない	全く思わない	わからない
令和5年度	0%	50%	25%	17%	0%	8%
	50%		25%	17%		8%
令和6年度	10%	45%	27%	18%	0%	0%
	55%		27%	18%		0%

設問④では、教師主導で授業を展開して道徳的価値に誘導するのではなく、生徒が互いに話し合いながら道徳的価値に迫ることができるようにすること、めあてから離れず生徒の考えから「なぜ?」「どうして?」と質問しながらより深く考えさせること、教師が喋りすぎないことを心がけていると伺える。

設問⑤ 道徳の授業では、研究を始める前に比べて、生徒の発言や発表でねらい（第三層：道徳的価値レベル）に迫ることができていると思いますか。

	とても思う	やや思う	変わらない	あまり思わない	全く思わない	わからない
令和5年度	0%	50%	25%	8%	0%	17%
	50%		25%	8%		17%
令和6年度	0%	37%	45%	18%	0%	0%
	37%		45%	18%		0%

設問⑤については、授業の中で、ダイヤの原石と考えられる発言を上手く見つけ、そこから考えを深めるための研究をする上で、生徒の発言を活用して道徳的価値レベルに迫ることの難しさを感じた。

令和6年度のアンケート結果では、令和5年度に比べて、低い割合の項目もあるが、道徳科の授業終了時に職員室で教職員同士が反省や振り返りを行う時間が増えた。これは、ねらいに迫ることで道徳科の授業をよりよいものにしたという気持ちの表れであると確信している。

成果：

- 「目指すべき授業の流れ」の共通理解をすることができた。これには、海南市教育委員会が主催する Manabi Up 研修講座の第一回研修を通じて、下津第二中学校の教員全員が学習した。さらに、先進校の愛知県みよし市立北中学校及び、南中学校での視察を通じて授業を参観し、研究協議に参加した。これにより、学習指導要領解説に基づいた発達段階に応じたねらいの設定や授業の中心発問、生徒の発言や発表に対する重要性を共有し、道徳科の授業改善に向けた共通の方針を確立した。
- 授業計画と研究協議に基づいた授業改善を実施し、共通理解を深めた。教師は、研究授業を行う際にプランニングシートを活用し、互いの授業を参観して授業内容や指導方法、「道徳的価値をみとるポイント(P.18参照)」について協議した。これにより、授業の質を向上させ、目指すべき授業のあり方に対する理解を深めた。
- 生徒の話合い活動を充実させるための授業実践を行った。教師は、座席配置を工夫し、「コの字型」を採用するなど、生徒同士の意見交換を促進する環境を整えた。さらに、教師は生徒の議論を深めるためファシリテーターとして発問や問い返し技術を磨き、生徒がより多角的な視点から議論ができる支援をすることができた。
- 各学年で道徳通信を発行し、生徒同士での情報共有と保護者への情報発信を行った。授業中、自分の考えを毎時間記入しているが、それを共有する時間は限られているので、共有できていなかった級友の考え方を知る手段として道徳通信を活用した。級友の考え方をすることで道徳的価値を深めたり、広げたりするだけでなく、家庭での会話のきっかけとなり、「保護者から見た子どもの変容に気づくことにもつながるのでは」と考えた。また、保護者には「学校教育で力を入れてほしい、身につけてほしいと考える項目」についてアンケートをとった。その中で多かった内容項目は、A-(1)【自主、自律、自由と責任】「自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする」とA-(4)【希望と勇気、克己と強い意志】「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする」だった。保護者が身につけてほしいと考える道徳的価値と学校教育活動全体の中で高めたい道徳的価値が一致していることが分かった。今後も保護者と連携をして道徳的価値を深める取組を継続していきたい。
- 研究協力地域の中学校（下津第一中学校）にアンケートの実施を依頼し、他校との共通点や相違点を見出し、研究に活かすための材料とすることができた。また、研究協力校（下津管内の小中学校）に研究授業・協議の参加依頼をし、種別をこえた意見交流をすることができた。「生徒の発達段階に応じた目標設定になっているか」「中学生だからこういうところまで議論し、深めることができるのではないか」などといった忌憚のない意見を聞くことにより、協議を深めることができた。

課題：

1 道徳的価値を深める道徳科の授業及び、指導改善の必要性。

生徒が小学校段階で理解している分かりきったことを言わせる、書かせる授業にならないよう、教師が生徒の発達段階に応じた目標設定を立てる必要がある。また、「生徒が主役となる道徳科の授業」を目指すため、教師はしゃべりすぎず、道徳的価値に迫るためのファシリテーターに徹しながら授業を展開することが求められる。今後も年間1人2回以上の公開授業をすることで実践回数を増やし、コンテンツを積み上げていきたい。

また、プリントを見ずに自分の言葉で考えを伝える授業形態を実施している。これは、プリントを見ながら読むだけでなく、自分の言葉で相手に伝えたり、質問したり、意見交流をしながら議論を深めることをねらいとしている。しかし、プリントを見ずに自分の考えを伝えることだけにとどまり、生徒同士がやりとりをすることで考えが深まるまでには達していないので、取り組みを継続する必要がある。

2 生徒の実態に応じた道徳教育のカリキュラムマネジメントの課題。

学校教育目標の実現に向けて、道徳科、道徳教育、特別活動（行事等）、総合的な学習の時間、地域を関連付けて取り組む計画（別業）を作成した。やはり道徳科の授業だけでなく、学校教育活動全体を通じて道徳性の向上につなげていく必要があると考えたからである。現在行われている活動が道徳教育と教科横断的に取り組んでいけるよう、指導する側も生徒も関連性をより意識して取り組むことが求められる。

3 ICT を活用した道徳科の授業実践の研究不足。

ICT を活用した生徒参加型の授業環境を構築するため、授業の中で ICT を活用するタイミングなど効果的な活用方法を探求する必要がある。生徒が自分の考えを表現し、伝えるツールとして利用することで、より深く考え議論できる授業環境が整備されると期待できる。

本校の生徒の中には「道徳科の授業を楽しみにしている」と声にする生徒もおり、授業中に自分の考えを自分の言葉でしっかり発表できる場面も多い。また、授業中に積極的に発言することは少なくとも、自分の考えを持ち、ワークシートにはしっかり記入できている生徒が多い。これらのことから、生徒は他者の意見を聞きながら自分の考えを深めようとする姿勢で前向きに学習に向うことができていると考えられる。道徳科の指導にあたっては、学級担任だけでなく学年担当全員が授業を行い、共通して取り組むことを理解したうえで、誰が授業をしても同じスタンスで授業ができている。今回のアンケートの結果から分かるように、全教職員が同じ方向性を持ちながら授業研究を深め、生徒に向かう真剣な姿勢が伝わっているのではないかと考えられる。

人は、支え合って生きていくことにおいて、どんな困難にも立ち向かい、困難を乗り越えることができる。人が困っていたら助けに行き、自分が困っている仲間へ助けを求めるといことが、人を成長させるための糧になるから、どんな些細な困難でも、私も仲間と解決するために仲間と喜びを共有しようとしている。

私は、高い目標を持ち続けるためには、何かに挑戦しようとする気持ち、あきらめない心が必要だと思いました。理由は、挑戦しようとする気持ちがないと高い目標は持てない、あきらめない心がないと途中でやめてしまうからです。また、私は失敗しないようにしようとして、必ず挑戦しようとするので、失敗した時のことを考えてしっかり準備しておくことも大切にしていきます。

*生徒のワークシートより

このように2年間の研究を通して、様々な成果を得ることができたのと同時に課題も明らかになった。道徳的価値レベルに迫ることができるよう、みんなで議論し、考え合うことができる道徳科の授業を教職員全員で目指し、道徳科における下津第二中学校スタイルを確かなものにするために研究を継続していきたい。



令和5年度・6年度

海南市立下津第二中学校職員

油谷 正之 田上 智世 一色 秀之 相谷 直佳 安樂 都 岡本 智史

小川幸太朗 尾崎 京子 加納 晋哉 楠 祐希 塩崎 由季 中村 宗稔

濱口 優 前山 裕亮 南川 俊文 宮土 憲治 和田 華奈 池端 尚也

大崎 真美 岡本竜太郎 井戸本枝美 那須 宣彦 丸尾登巳子



実践内容

I 令和5年度・令和6年度 授業実践のあゆみ

	内 容
(令和5年度)	
5月 8日	下津第二中学校道徳研究部会 立ち上げ
5月25日	下津第二中学校道徳研究部会 ・年間の取り組みについて、プランニングシートを用いた公開授業と参観について検討
6月30日	管理職1名、教諭1名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
7月20日	和歌山県教育委員会からの生徒対象道徳アンケート 実施
7月27日	現職教育 ・海南市 Manabi Up 研修講座の受講 ・先進校視察の伝達講習 ・生徒対象道徳アンケートの分析・報告
8月17日	下津第二中学校道徳研究部会 ・道徳科の授業を進めるにあたって共通認識(方向性)の検討 ・今後の計画を立案
8月29日	下津第二中学校道徳研究部会 ・道徳科の授業を進めるにあたって共通認識(方向性)の検討・決定 ・カリキュラム(別葉)作成にあたっての検討
9月12日	下津第二中学校道徳研究部会 指導案検討会
9月20日	和歌山県教育委員会、海南市教育委員会 指導主事訪問・指導案検討会議 ・紀北教育事務所学校指導課 中山拓指導主事 ・和歌山県教育庁学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事
9月29日	教諭2名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
10月11日	教諭2名が愛知県みよし市立南中学校へ視察
10月18日	3年 A 組 研究授業・研究協議 「心にしみこむ“言葉”の力」(東京書籍)【(B(9)相互理解・寛容)】 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・紀北教育事務所学校指導課 登地真由美指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事
11月 7日	3年 A 組 研究授業「高く遠い夢」 ・教育講演会と関連付けた授業研究
11月14日	3年B組 研究授業「高く遠い夢」 ・教育講演会と関連付けた授業研究
11月22日	海草地方道徳教育研究発表会に全教員が出席
11月29日	下津第一中学校及び下津第二中学校の統合を見据えた道徳科の共通年間指導計画 の検討会議
12月15日	管理職1名が愛知県みよし市立南中学校へ視察
12月22日	下津第二中学校独自生徒道徳アンケート 実施

1月15日	下津第二中学校独自教職員道徳アンケート 実施
1月31日	2年B組 研究授業・研究協議 「自分を信じて生きるとは… 本当の私」(東京書籍) 【D(22)よりよく生きる喜び】
	・和歌山県学校教育局義務教育課 大堀和美課長 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校、和歌山市立明和中学校 紀の川市立荒川中学校、紀の川市立粉河中学校 参加
2月13日	海南市立第三中学校での師範授業・研究協議に校長、教諭1名が出席 ※全教員がプランニングシートを作成し、年間2回の公開授業を実施
(令和6年度)	
4月3日	現職教育 ・昨年度の研究報告 ・道徳科の授業の進め方の伝達講習
4月19日	3年B組 研究授業・研究協議 「スイッチ」(東京書籍)【A(1) 自主、自律、自由と責任】 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校
5月1日	現職教育 ・研究授業の振り返り ・道徳科授業の実践について共通認識、別葉の作成について報告
5月22日	現職教育 ・指導案検討会議
6月5日	1年A組 研究授業・研究協議 「席替え」(東京書籍)【C(11) 公正、公平、社会主義】 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・畿央大学 島恒生 教授 ・研究協力校
6月28日	教諭2名が愛知県みよし市立北中学校へ視察
7月22日	下津第二中学校独自生徒道徳アンケート 実施
7月31日	現職教育 ・1学期の道徳科授業、研究授業、道徳実践の振り返り ・先進校視察の講習伝達 ・各部会での研究内容の確認
8月2日	下津第二中学校独自教職員・保護者道徳アンケート 実施

8月28日	現職教育 ・研究経過の報告会
9月11日	道徳指導案検討会議
10月9日	現職教育 ・研究発表にむけた取り組み
10月16日	2年A組 研究授業・研究協議 「左手でつかんだ音楽」(東京書籍)【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 ・和歌山県学校教育局義務教育課 豊田麗香指導主事 ・海南市教育委員会学校教育課 吉村直樹指導主事 ・研究協力校 4名
10月23日	現職教育 ・10月16日の研究授業の振り返り ・道徳研究発表会に向けた取り組み
10月30日	現職教育 ・道徳研究発表会に向けた取り組み
11月1日	近畿中学校道徳教育研究大会に教諭1名が出席
11月20日	道徳教育研究発表会

令和5年度実践

第3学年道徳学習指導案

令和5年10月18日（水）第5校時

指導者 中村 宗稔

1 学 年 3年A組（男子13名 女子9名 計22名）

2 主題名 「コミュニケーションの原点を見つめて」

3 教材名 「心にしみこむ“言葉”の力—池上 彰」（新訂新しい道徳3（東京書籍））

4 ねらい

人に気持ちを伝えたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することを通して、お互いにより良い関わり方ができるように、人それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に学び、広い心を持つようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

B（9）「相互理解、寛容」（B主として人とのかかわりに関すること）

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの
の見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は明るく素直な生徒が多く、生徒同士の人間関係は概ね良好で、多くの生徒が他人への配慮や思いやりの心を持って、よりよい社会の実現を目指した行動を心がけているように思われる。しかし、本校は幼い頃から同じ小学校で過ごしてきた生徒も多いため、人間関係の輪が小さく、親しさゆえに友人に対して失礼な態度をとる生徒もいる。中学生だからこそ、日頃自分がどのような関わり方をしているか俯瞰的に見直して、心にゆとりを持って相手の意見を聞くことで、自分の意見が広がる良さを実感し、他人の意見を受け入れられないときの自身の弱さを理解できるようにしたい。

(3) 教材について

この教材は、メディアで活躍している池上彰氏が報道記者として経験してきたことをもとに、「伝える」ことの難しさや大切さについて述べたものである。他者との関わりの中で多様な考えに触れることで、自分の考えの狭さに気づき、他者の立場や考えを尊重することの必要性を感じられる教材である。

メディアで活躍する池上彰氏の経験をもとに、コミュニケーションについて考えさせる。授業では、生徒の意見をもとに話し合いを進め、道徳的価値に近づいていきたい。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 (★ 評価)
導入 5分	1. 「人との関わり方で大切なことは？」について考える。 ○「人との関わり方で大切なことは？」を考えさせる。 ・口調 ・視線 ・表情 ・会話 ・相手の気持ちや考え方を分かってあげる	・ペアで話し合わせる。
展開 40分	2. 「心にしみこむ“言葉”の力—池上 彰」を読む。 ○池上彰氏の伝えたいことは何か？ ・“分からないこと”を分かってあげる ・感情をぶつける前にまずは相手の話を聞くこと ・感情を出すことも大切 ◎なぜ、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるために大切なのか？ ・相手の状況や立場を考えるため。 ・自分のことをどこまで理解しているか知るため。 ・相手の理解に合わせて話をするため。 3. 自身の実体験から人との関わり方を振り返り、相互理解の難しさや人の弱さへの考えを深める。 ○『人に何かを伝えることの難しさを感じた時はどんなとき？』 ・部活で後輩に教えるとき ・体育祭の練習で種目の説明やパフォーマンスの振り付けを教えたとき ・数学の授業での学び合い活動のとき 4. 「人との関わり方で大切なことは？」について考える。 ○「人との関わり方で大切なことは？」を考えさせる。 ・相手と自分の良さを知っておく ・お互いに心の弱さを持っているということを知っておく ・常に心のゆとりをもって客観的に物事を捉える ・自分をさらけ出すことで自分を知っておいてもらう。	○口頭で確認する。 ○個人で考えた後、ペアで話し合い、意見を深める。 ○自分事として考えられるように、実体験を口頭で聞いていく。 ○弱さの原因を考え、班で意見交換をする。 ★弱さを感じ取り、人との関わり方の中でその弱さを乗り越えようと考えられているか。
終末 5分	5. 本時のまとめ 今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。	

7 板書計画

「心にしみこむ言葉」の力 池上彰
 人との関わり方で大切なことは？
 池上彰さんの伝えたいこと

- ・相手と自分の良さを知っておく
- ・お互いに心の弱さを持っていると
 いうことを知っておく
- ・常に心のゆとりをもって客観的に
 物事を捉える
- ・自分をさらけ出すことで自分を
 知っておいてもらう。

↑

- ・頑なに相手の意見を聞かず教え込
 んだ。
- ・相手を馬鹿にしてしまった。
- ・見栄を張って自分を大きく見せた。

↑

- ・自分にも余裕がなかった
- ・自分も焦っていた
- ・納得できなかった
- ・相手の理解度も分かっていなかった

相手の話をよく聞くこと

なぜ、まず相手の話をよく聞くことが
 自分の気持ちを伝えるために大切なのか？

- ・相手の状況や立場を考えるため。
- ・自分のことをどこまで理解しているか知るため。
- ・相手の理解に合わせて話をするため。

人との関わり方で大切なことは？

感情を出すことも大事。(冷静さが必要)

- ・ビジネスの話
- 相手の分からないことを分かってあげる
- ・プライベートの話
- 感情(怒り)をぶつけるのではなく
- 自分の感情を客観的にコントロール

道徳『心にしみこむ“言葉”の力——池上 彰』

3年()組()番 氏名()

めあて：人との関わり方で大切なことは？

1. なぜ、まず相手の話をよく聞くことが自分の気持ちを伝えるために大切なのか？

《メモ》

2. 人との関わり方で大切なことは？

振り返り（今日の学習で学んだこと考えたことを書こう）

研究授業を終えて【令和5年10月18日(水)中村教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・板書が分かりやすく、生徒の意見を反映することができていた。
- ・コの字型配置の座席と、班で話し合うための座席の使い分け方が適切であった。

【授業者の様子】

- ・教師がファシリテーターとなり、生徒のつぶやきや発言、うなずきに対するリアクションを取る中で、生徒の発言で授業が進められた。
- ・実体験を考えさせる時間をじっくりとることができていた。
- ・教材の確認をスムーズに行うことができていた。

【生徒の様子】

- ・生徒が自分の体験と結びつけて考えることができていた。
- ・積極的に意見を出せていた。

課題

【授業デザイン】

- ・時間配分が不十分で、生徒の振り返りをフィードバックする時間が取れなかった。
- ・主発問は、本時の内容を深めるためのものであり、もっと大事にしたい。
- ・「焦る」「余裕がない」などの弱さを克服することができなかった。そこをもっと深めたかった。
- ・「自分はどうか・・・」という点で、話を進めてしまい、話が教材から離れてしまった。あくまでも教材の中で考え方や生き方を学びたかった。

【授業者の様子】

- ・まとめへの移り方が、生徒主体ではなく、教師主体であった。
- ・最後の発問は自分事として考えられていなかった。
- ・生徒意見の一部を強調していた。
- ・キーワードは教師主体で出してしまうていた。
- ・生徒からの意見の引き出し方をもっと工夫したかった。

【生徒の様子】

- ・クラスメイトの意見に対して、メモを取らずに共感理解をさせたい。
- ・生徒の発表中にワークシートに自分の考えを書き込んでいる生徒がいた。

第2学年道徳学習指導案

令和5年12月19日(火) 第1校時
指導者 大崎 真美

1 学 年 2年B組 (男子11名 女子8名 計19名)

2 主題名 「よりよい社会のために」【C：遵法精神，公德心】

3 教材名 「宝塚方面行き——西宮北口駅」 (新訂新しい道徳2 (東京書籍))

4 ねらい

電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、公共の場での適切な言動を考え、社会の一員として社会全体の視点を持って社会をよりよいものにしていこうとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本題材は、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(10)「遵法精神、公德心」に該当するものである。公德心とは、社会生活をする上での道徳を守り、誰もが住みよい社会を実現しようとする心情や態度などのことを言う。電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、自分自身が公共の場で適切な言動をとっているかどうかを振り返りながら、住みよい社会を実現するためには、社会の一員であるという自覚や、他人への配慮や思いやりを大切にすることをもち、互いの権利を尊重し、義務を果たそうとすることが必要であることを学ばせたい。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は活発な生徒が多く、休憩時間はグラウンドや体育館でサッカーやバスケットボールを楽しむなど、生徒同士の人間関係は良好である。第1回道徳アンケート結果において、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとしている」の項目では、「思う」が2年生全体の56%、「どちらかといえば思う」が41%、「どちらかといえば思わない」が3%、「社会の一員としてよりよい社会を実現するために行動しようとしている」の項目では、「思う」が41%、「どちらかといえば思う」が53%、「どちらかといえば思わない」が6%という回答率であった。この結果より、ほとんどの生徒が他人への配慮や思いやりの心を持ってよりよい社会の実現を目指した行動を心がけているように思われる。一方で、特定の人間関係を大切に自分のことを考える生徒も見かける。また、1学期で取り組んだ生徒総会に向けての話し合い活動では、「校則」に対して自分たちを拘束するものとして反発したり、権利だけを主張したりして、自分の果たさなければならぬ義務をおざなりにする傾向もあった。そこで、「私」を大切にすることと「公」を大切にすることの関係について考え、公共の場での適切な行動について考えを深め、公の中での自分の在り方について気づかせたい。

(3) 教材について

本教材は、電車の座席に鞆を置いて席取りする主人公がおじいさんにいきなり大きな声で怒鳴られたり、周囲の人に白い目で見られたりするという経験を通して、公共の場で適切な言動をとることができるかどうか考えるという内容のものである。

本学級の生徒もこれに似た体験や場面に遭遇していることが考えられる。公共の場で適切な言動をとることができるかどうかについて、自分の言動を振り返り、自分のこととして考えられる教材である。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・ 予想される生徒の反応)	・ 指導上の留意点 (★ 評価)
導入	<p>よりよい社会のために必要なことは何か考えて発表する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>よりよい社会のために必要なことは何だろう。</p> </div>	<p>・ ワークシートへ考えを書かせる。</p> <p>・ 生徒の意見を板書して、後の発問と対比できるようにする。</p>
展開	<p>「宝塚方面行き——西宮北口駅」を読んで話し合う。</p> <p>○おじいさんの行動について、どう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 怒って当然。 ・ いきなり怒鳴るのはよくない。 <p>○最後の一文より、2人はどのようなことに気づいていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのことしか考えていなかった。 ・ 他の人たちへの気遣いがなかった。 <p>○ダメだと分かっているのにしてしまうのは、なぜ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の弱い心に負けてしまうから。 ・ 「心の弱さ」から。 <p>◎これから電車の中で、ミサとマユミはどのようなことに注意していこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「座りたい」「楽したい」という自分の弱い心に負けないで、周りの人のことを考えて行動する。 ・ 自分の行動が他の人の迷惑になっていないか気を付ける。 	<p>・ なぜ私たちはそれができないのか「自分の弱さ」に気づかせ、それに触れながら考えを深めさせる。</p> <p>・ ワークシートへ考えを書かせる。</p>

	<p>「みんなが気持ちよく過ごすための配慮」について考える。</p> <p>○よりよい社会のために必要なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで社会や集団を作っているので、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動する。 ・自分の「弱い心」に負けないで、周りの人たちのことを気に掛けて、思いやりの心を持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通している内容は、みんなが気持ちよく過ごすための配慮につながっていることに気づかせる。
終末	<p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへ振り返りを書かせる。 ★よりよい社会のために心掛けることについて今までの生活を振り返り、今後どのように行動すべきか考えを深めている。

7 板書計画

本時のめあて

よりよい社会のために必要なことは何だろう。

「宝塚方面行き」西宮北口駅

- ・税金
- ・UD
- ・思いやり
- ・ルールを守る

おじいさんの行動

- ・怒って当然。
- ・いきなり怒鳴るのはよくない。

『そうじゃないのは二人ともたぶん分かっていた。』

「二人はどんなことに気づいていたのだろう」

- ・自分たちのことしか考えていなかった。
- ・他の人たちへの気遣いがなかった。

ダメだと分かっているのにしてしまうのは、なぜ？

- ・自分の弱い心に負けてしまうから。
- ・心の弱れ「かし」。

「座りたい」「楽しみたい」という自分の弱い心に負けないで、周りの人のことを考えて行動する。

- ・自分の行動が他の人の迷惑になっていないか気を付ける。

よりよい社会のために必要なことは何だろう。

- ・みんなで社会や集団を作っているので、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動する。
- ・自分の「弱い心」に負けないで、周りの人たちのことを気に掛けて、思いやりの心を持って行動する。

めあて

よいよい社会のために必要なことは何だろう。



Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

◎

Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

【振り返り】

Blank writing area with a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

研究授業を終えて【令和6年2月19日(月)大崎教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・発問は予め、紙に書いておき、それを提示することで時間短縮につながった。
- ・挿絵を効果的に掲示するなど、生徒が教材内容をイメージしやすい工夫ができていた。

【授業者の様子】

- ・「この調子でどんどん出しましょう」など、生徒の発言を促す言葉かけができていた。

【生徒の様子】

- ・自分の考えを発表することができていた。
- ・積極的に意見を出せていた。

課題

【授業デザイン】

- ・隣の人との交流時は、ワークシートをしまう必要はないが、全体で議論し合う時はワークシートをしまう。
- ・該当学年で何を学ばせたいかをしっかり押さえ、発達の段階に応じた授業計画を立てる。
- ・小さな国語(読み取り)にならないよう教科書に視線を向けさせてしまう問いかけはしない。
(「教科書にはなんて書いてあった?」「教科書の〇〇を見て」⇒×)
- ・教材を利用して主人公の心情を理解し、自分事として考える授業づくりを目指す。
- ・板書計画はしっかりと!(「めあて」⇒「題材名」の順で)
- ・子供たちの発言をもとにより議論し合うことで、考えが広がり、深める授業を(「生き方」を共に問う)。
- ・自分事として考えることができる指示や発問を。

【授業者の様子】

- ・しゃべりすぎない。
- ・指示型授業にならない。
- ・キーワードとなる言葉を生徒に言わせようと、誘導的になってしまった。
- ・生徒たちに手柄を掴ませるよう「すごいね」と褒める。

【生徒の様子】

- ・小さな国語(読み取り)ではないので教科書から答えを探すのではなく、自分事として考え、発言する。

第2学年 道徳科学習指導案

令和6年1月31日（水）第5校時

指導者 南川 俊文

1 学 年 2年B組（男子11名 女子8名 計19名）

2 主題名 「誇りをもって生きるとは……」＜内容項目 D（22）よりよく生きる喜び＞

3 教材名 「本当の私」（新訂新しい道徳2（東京書籍））

4 ねらい

人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもあることを理解し、人間としての誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。

5 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

D（22）「よりよく生きる喜び」（D：主として生命や自然、崇高なものとの関りに関すること）

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや、誇りをもって気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

（2）生徒の実態について

本学級は男子11名、女子8名の計19名で構成されている。何事にも前向きに取り組むことができる生徒が多く、日々の授業においても、落ち着いて学習活動に取り組むことができている。しかし、グループでの話し合い活動になると、積極的に発言する生徒とそうでない生徒との差が激しく、結果として発言力のある生徒の意見に集約されることが多い。積極的に発言できない生徒も、ワークシートなどを見るとじっくりと考えられており、いかに自分の考えに自信をもって他者へ伝えていけるかが課題となっている。

この課題の克服のために、道徳や他教科の授業で、他者の話をしっかりと聞き、自分の考えをしっかりと発言する話し合い活動の時間を多くとってきた。その結果、それまで自分の意見を発言できなかった生徒が、少しずつ自分の意見を発信できるようになってきている。

本学級において、1学期終業式後のホームルームで夏休みの注意事項の話をしたとき、生徒から「ばれなければいいやん」というつぶやきが聞こえた。また、授業中、必要でないときに隠れてタブレットを触っていたり、授業で使ったプリントを教室のゴミ箱に捨てていたりしたことがあり、それらの件の指導中に生徒から「悪いと分かっていたのにしてしまった」という言葉を聞いた。本教材での学習を通して、「ばれなければいい」という考え方を見直すだけでなく、「悪いと分かっていたのにやってしまった」という心の弱さを認識し、その弱さを乗り越え、よりよく生きることのすばらしさを感じさせたい。

(3) 教材について

「よりよく生きる喜び」については、1年次に「銀色のシャープペンシル」という教材で学習している。この教材では、心の弱さと良心との間で葛藤する主人公の姿を通して、「心の弱さを乗り越えるためには、どのようなことが必要だろうか」ということについて考えてきた。本教材では、昨年度の学習をさらに深め、心の弱さを乗り越えた先にある、強さや誇り、気高さに気づかせていきたい。

本教材は、「もう絶対に薬物には手を出さない」と決めた陸上選手のエイミーが、心の弱さから再び薬物に手を出してしまうものの、ドーピングを認める発表を行い、自分自身の弱さを乗り越えて、誇りをもって気高く生きていこうとする話である。人間には、自信のなさや逃げたいという心、ずるい心などの弱さがある。その弱さを克服したところにこそ、誇りをもって強く生きていくことの喜びが生まれるということに気づかせ、自分もつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもたせたい。

そして、結果を出すことができ、黙っていれば、ばれなかったかもしれないドーピングをエイミーがなぜ認め、発表したのかということを考えさせることによって、弱さを克服したその先に、人間としての強さや誇り、気高さがあるということに気づかせたい。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ・ 予想される児童の反応)	指導上の留意点 (◇ 評価)
導入 5分	「誇りをもって生きるとは、どういうことか」について考える。 めあて「 誇りをもって生きる 」とは、どういうことだろう。 ・ 自分に自信をもって生きる ・ 様々なことに挑戦して生きる ・ 前向きに元気に生きる	・ 事前に考えていた意見を、ロイロノートを使って全員で共有する。
展開 40分	教師の朗読を聞く 内容を確認する ○ エイミーはどのような気持ちでA社に向かったのだろう。 ・ 練習の成果が出ずに苦しい ・ なんとかして結果を出したい ・ 応援してくれているみんなの期待に応えたい。	話の内容を確認しやすいように、掲示物を提示する。 ・ A社に向かうまで、「薬には絶対に手を出さない」と決めた自分」と、「薬に頼って結果を出したい自分」との間で揺れ動くエイミーについて考えさせる。

補助発問

- エイミーが何度も足を止め、ぼんやりと遠くを見つめたとき、どのような気持ちだったろう。
- ・薬には手を出さないと決めた自分と、薬に頼って結果を出したいという自分の間で悩んでいる。
 - ・自分でもどうしていいかわからなくなっている。
 - ・あと一回だけならいいのではないかと思っている。

補助発問

- どのような気持ちが、エイミーを早足でA社に向かわせたのだろう。
- ・悪いことをしているといううしろめたさ。
 - ・これを最後にしたいという気持ち。
 - ・ばれなければいいという気持ち。

◎なぜ、エイミーはドーピングを認める発表をしたのだろう。

- ・罪の意識でこれ以上苦しみたくない
- ・自分に嘘をつきたくない
- ・正直に生きていたい

補助発問

- レイチェルがエイミーに言った、「本当に大切なもの」とは何だろう。
- ・正直な自分
 - ・薬に頼らない自分
 - ・心の弱さに負けない自分

補助発問

- ドーピングを認める発表から十年余りが経ったエイミーの表情がおだやかなのは、なぜだろう。
- ・自分の弱さを乗り越えられたから。
 - ・正直に生きることができたから。
 - ・ありのままの自分でいられたから。

「誇りをもって生きるとは、どういうことか」について考える。

- ・A社の薬はドーピング検査を簡単にかいくぐれるという情報があったことも押さえさせる。

- ・エイミーの心情の変化に着目させ、自分の弱さを乗り越えようとする強さに気づかせる。

- ・レイチェルの発言からも、エイミーがドーピングを認める発表をしたことについて考えさせる。

- ・自分の弱さを乗り越えることで得られる心の強さや、自分らしく正直に生きることのすばらしさを感じさせる。

	<p>☆「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弱い心があることを認識し、それを乗り越えて強く生きていく。 ・自分がダメだと思っていることを絶対にせず、自分のありのままの姿で素直に生きる。 ・自分に負けてしまいそうなときでも、正しく信念をもって生きる。 	<p>◇自分がもつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもっているか</p>
<p>終末5分</p>	<p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	

7 評価について

自分がもつ弱さや醜さを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする意欲をもっているか。(発言・ワークシート)

8 板書計画

「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう

- ・弱い自分を乗り越えて、強く生きていく。
- ・自分がダメだと思ったことは決断していく。
- ・正直にありのままの自分の姿で生きていく。

「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう

- ・自分に自信をもって生きる
- ・様々なことに挑戦して生きる

本当の私

エイミー 陸上世界選手権の金メダリスト

エイミーの力 + 薬の力

もう絶対に薬物には手を出さない！

←

A社に早足で向かった

エイミーはどのような気持ちでA社に向かったのだろう

- ・成果が出ずに苦しい
- ・結果を出したい
- ・期待に応えたい

金メダルを獲得

- ・これを最後にしたい。
- ・ばねなければいい
- ・うしろめたい

なぜ、エイミーはドーピングを認める発表をしたのだろう

- ・罪の意識でこれ以上苦しみたくない
- ・自分に嘘をつきたくない
- ・正直に生きていたい

約十年後のエイミー

おだやかな表情

レイチエル

【本当に大切なもの】

- ・正直な自分
- ・心の弱さに負けない自分

2学年道徳『本当の私』

2年()組()番 氏名()

めあて 「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。

振り返り(今日の学習で学んだことや考えたことを書こう)

授業づくりシート

<p>【教材解釈】</p> <p>教材名 本当の私</p> <p>〈ストーリー〉</p> <p>主人公のエイミーは、陸上世界選手権で金メダルを獲得した陸上選手である。金メダル獲得後、コーチから使用していたサプリメントは、ドーピング検査に引っかかる可能性があることを伝えられる。エイミーは、「もう絶対に薬物には手を出さない」と決意するが、その後、足のけがなどもあり、悩みながらも再び薬物に手を出してしまう。その結果、再び金メダルを獲得したエイミーであったが、これは「本当の自分」ではないと感じ、自らドーピングを告白する発表を行い、金メダルを返還した。</p>	<p>【内容項目の解釈】</p> <p>よりよく生きる喜び</p> <p>人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもある。このことを理解し、人間として誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。</p> <p>〈キーワード〉</p> <p>人間誰もが弱さをもっている。しかし、その弱さを乗り越え、克服することこそが、誇り高く生きることや、生きる喜びを感じることに繋がっていく。</p>
---	--

<p>【主題】 よりよく生きる喜び</p>	
<p>【ねらい】</p> <p>人間の心には弱さや醜さがあるが、それを乗り越えようとする強さもあることを理解し、人間としての誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を育てる。</p>	
<p>【めあて】</p> <p>「誇りをもって生きる」とは、どういうことだろう。</p>	
<p style="text-align: center;">Before</p> <p>○「誇りをもって生きる」とは、自信をもって生きることである。</p> <p>○ばれなければ、悪いと分かっていることもやっつけていい。</p> <p>○周りに迷惑をかけなければ、悪いと分かっていることもやっつけていい。</p>	<p style="text-align: center;">After</p> <p>○「誇りをもって生きる」とは、「自分の弱さを克服して生きることである。</p> <p>○ばれなければいいと思ってやってしまう弱い心乗り越えることが大切である。</p> <p>○周りには関係なく、自分の弱さを乗り越え、正直に、ありのままの姿で生きることがすばらしい。</p>



研究授業を終えて【令和6年1月31日(水)南川教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・時間配分が適当であった。
- ・板書計画が丁寧であった。

【ICTの活用】

- ・無記名のアンケートによる事前調査からの導入が効果的であった。

【授業者の様子】

- ・学習指導要領に沿って、丁寧に進められていた。
- ・教科書やワークシートは机にしまわせる、50分の時間配分を意識する、「めあて」を授業の最初と最後に押さえるなど、様々な工夫を忠実に進めていた。
- ・テンポよく授業が進み、生徒が考える時間が確保されていた。

【生徒の様子】

- ・ほとんどの生徒が自分の意見を発言していた。
- ・授業前と授業後で、生徒の変容が見られた。
- ・発言が特定の生徒に片寄らず、まんべんなく意見が出ていた。

課題

【授業デザイン】

- ・指導案における、「道徳的価値」「ねらい」「教材について」にずれがあり、「めあて」がぶれていた。
- ・教師の計画を進める、指示型の授業となっていた。
- ・「生徒の考えが足りないから授業を行う」という考えではなく、「答えは生徒が内側にもっていて、授業を通してその答えを引き出す」というスタンスで、授業を創らなければならない。

【ICTの活用】

- ・アンケートの内容が、この授業にとって適切でなかった。生徒に「この授業で考えたい」という内容になるような工夫が必要である。

【授業者の様子】

- ・一方的な授業になっていた。
- ・教材の確認は大事であるが、一つ一つ、「どうだった?」「次にどうなった?」と問いかけているので、記憶力を問うような形になっていた。これでは、生徒の表情が硬くなり、級友とコソコソとつぶやく授業にはならない。
- ・発問の焦点がぼやけていて、生徒が何を話し合ったらよいか戸惑っていた。
- ・生徒が「もっと考えたい」と思うような切り返しが必要である。
- ・コーディネート力、ファシリテート力が足りない授業であった。
- ・感想の交流は議論の場ではないので、ワークシートを伏せさせる必要はなかった。

【生徒の様子】

- ・自分事として、十分に捉えられていなかった。
- ・「弱さ」への共感が足りなかった。

令和6年度実践

第3学年 道徳学習指導案

令和6年4月19日（金）第5校時
指導者 相谷 直佳

1 学年 3年B組（男子11名 女子8名 計19名）

2 主題名 「責任ある行動とは」

3 教材名 「スイッチ」（新訂 新しい道徳3 東京書籍）

4 ねらい

卓球部のキャプテンとしてチーム運営に悩む主人公の姿を通して、自主的な判断のもとに誠実に実行し、その結果に責任を持って行動しようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

A（1）自主、自律、自由と責任（A主として自分自身に関すること）

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つこと。

（2）生徒の実態について

中学2年生途中から委員会活動や部活動、学校行事などで、リーダーや委員長、キャプテンを中心に活動する場面が増えてきた。3年生になっても、引き続き自主的に考え、行動する場面が多く求められるようになる。一方で、誰かに頼ってばかりいたり、自分の行為の結果を深く考えず、無責任な行動をしたりしてしまう面もある。その行動に責任を持つことの大切さについては多くの生徒が理解をしているが、その意義まで理解して実際に責任を持った行動ができる生徒は少ない。自らの判断によって望ましい行動をとり、その行動に対する責任を持つことで、生きることへの自信や誇りを持てることに気づかせたい。

（3）教材について

卓球部のキャプテンを任された絵里は、顧問が入院して不在の中、新しいチーム作りについて思い悩む。そんな中、ライバル校の顧問の一言によって、顧問に頼ってばかりだったことに気がつき、自分たちで考え行動していくことへの決意を固める。

自らの経験と重なることも多いであろう部活動を題材として、自主的な行動とは何かを考えさせることができる教材である。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>1. 「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>めあて</p> <p>○「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>・(自分で) 言ったことはやる・最後までやりきる・やると決めたらやる</p>	<p>・授業時に話し合う時間を確保するために、あらかじめ教材を読んでおく。</p> <p>・数名を指名(全体で共有)</p>
展開 40分	<p>2. 内容の確認しながら、絵里の立場に立って考える。</p> <p>○1年生から不満が出始めたとき、絵里は内心どのようなことを考えたのだろう。</p> <p>・先生が作ったメニューだから間違いはないはずなのに</p> <p>・このままでいいのかな ・今の練習で大丈夫?</p> <p>・今のやり方でいいのか不安</p> <p>○「君たちはためされているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。</p> <p>・自分たちが先生に頼ってばかりだと気づいたから</p> <p>・ここが部を立て直すチャンスだと感じたから</p> <p>・何とかしないといけない</p> <p>◎なぜ、スイッチを切り替えようと思ったのだろう?</p> <p>・自分達でもメニューを考えてやってみよう</p> <p>・先生がいなくても頑張ろう</p> <p>・次に向けての準備、心構えをしよう</p> <p>【深めていく】</p> <p>・「自分が正しいと感じて判断したことに自信をもってやっていくために」、について考えさせる。</p> <p>・自ら考えて、より良い判断をして実行することの大切さに気づかせる。</p> <p>・自分で判断した行動には責任が生まれることに気づかせる。</p> <p>3. 「責任を持って行動する」について考える。</p> <p>○「責任を持って行動する」とは?</p> <p>・自分の力でやり切ったという達成感 ・自分に自信がつく</p> <p>・たとえ失敗したとしても充実感がある</p> <p>・自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。</p> <p>・周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う</p>	<p>・内容を理解するため、あらすじをパワーポイントで確認する。</p> <p>・自分の言葉で発表できるよう、教材はしまわせる。</p> <p>・誠実に実行するとなると周りからの視線が気になり、ごまかしたり、流されたりしてしまいがちになる「弱さ」について考えさせる。</p> <p>・主人公の心情の変化に着目させる。</p> <p>・班で交流する。</p> <p>◇自分で判断した行動には責任が生まれるため、より良い判断をして実行することの大切さに気付くことができる。</p>
終末 5分	<p>4. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、学んだこと、考えたことを書く。</p>	<p>・自己評価シートを記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。</p>

7 評価について

自分で判断した行動には責任が生まれるため、より良い判断をして実行することの大切さに気付くことができる。(発言・ワークシート)

8 板書計画



◎なぜ、スイッチを切り替えようと考えたのだろうか？

- ・自分達でもメニューを考えてやってみよう
- ・先生がいなくても頑張ろう
- ・次に向けての準備、心構えをしよう

← 【深めていく】



◎君たちはためされているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。

- ・自分たちが先生に頼ってばかりだと気づいたから
- ・ここが部を立て直すチャンスだと感じたから
- ・何とかしないといけない
- ・今のやり方でいいのか不安

「責任を持って行動する」とは？

- ・自分の力でやり切ったという達成感
- ・たとえ失敗したとしても充実感がある
- ・自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。
- ・周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う。

「責任を持って行動する」について考える

- ・(自分で) 言ったことはやる
- ・最後までやりきる
- ・やると決めたならやる

「スイッチ」

◎1年生から不満が出始めたとき、絵里は内心、どのようなことを考えたのだろうか。

- ・先生が作ったメニューだから間違いはないはずなのに
- ・このままでいいのかな
- ・今の練習で大丈夫？

・自分が正しいと信じていることに対して、自信をもってやってみよう。

・「自分が正しいと信じていることに対して、自信をもってやってみようか」「こつこつと考えさせよう。」

・誠実に実行するとなると周りの視線が気になる。「まかしたり、流されたりしてしまいがちな」弱さ「こつこつと考えさせよう。」

- ・ふり切るつもり
- ・強気で答えながらも、内心でつすれば…

Before	→	After
<ul style="list-style-type: none"> ○ (自分で) 言ったことはやる ○ 最後までやりきる ○ やると決めたらやる 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の力でやり切ったという達成感を得る ○ たとえ失敗したとしても充実感がある ○ 自分に自信がついたり、周りから信頼を得られたりする。 ○ 周りの不安を取り除いたり、期待につながったりすると思う



【中心発問までに押さえておくべき事柄についての発問】
 ○「君たちはためされているんだぞ」という言葉が頭から離れなかったのはなぜだろう。



【中心発問】
 ◎なぜ、スイッチを切り替えようと思ったのだろう？



1 スイッチ (教科書 p.166~170)

学習日 令和 年 月 日

組 番 名前

問い：なぜ、「スイッチを切り替えよう」と考えたのだろう？

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑



振り返り：

↑

↑

↑

↑

↑

↑

研究授業を終えて【令和6年4月19日(水)相谷教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・パワーポイントを使用し、教材内容をスムーズに確認することができていた。
- ・主人公に対し不満が出たときの心情理解のため近くの生徒同士での話し合いは、自我関与を深められてよかった。
- ・コの字型配置の座席の配置により、机を移動させなくてもすぐに話し合いができていた。

【授業者の様子】

- ・序盤、生徒の意見を引き出すために「待つ」という姿勢で、話し合い活動を活性化させる場面があった。

【生徒の様子】

- ・生徒が前向きで誠実な姿勢で授業に参加し、しっかり発言していた。
- ・生徒の態度、発表力、聞く力、読解力など、以前より成長していると感じる。
- ・プリントに書いた意見を見ないで話すことで、自分の考えを相手に伝えることができていた。

課題

【授業デザイン】

- ・コの字型配置の座席の距離をもっと縮め、よりワイワイガヤガヤと話し合いができる環境づくりが必要。
- ・指導案を作成するときに明確なゴールを持つことが大事。「何か」という抽象的な言葉で表現するのではなく、具体的に明記することでゴールが明確になる。そこを明確にし、より議論を深めさせたい。
- ・気づきを与えられるようにするため、学習指導案でめあてなどの書き方に一貫性を持たせる。
- ・指導案の至る所にもその文言を入れておくことで「気付かされる」のではなく、自分たちが考え、「気付ける」ような仕掛けをしていくことが大事。
- ・生徒の心の変容を見取るため、授業の最初と最後の発問は同じにする。
- ・生徒が何を考えたらよいか分からなくなるのは、教師中心の表れであった。授業が深まってきたときの方向性を定めて授業を進めていく。(ねらいに対して)

【授業者の様子】

- ・「待つ」という難しさを実感した。着地点がはっきりしていれば、もっと待つことができ、もっと意見を引き出せる。自走式の授業を目指したい。
- ・キーワードが出ないことで焦ってしゃべりすぎ、出ていない言葉を言わそうと誘導してしまっていた。
- ・自分事として捉えきれずに授業が展開したことで、一番深めたい部分があやふやになってしまった。

【生徒の様子】

- ・プリントに書いた意見を見ないで話すことはできてきたが、自分の考えを相手に伝えるだけで終わってしまっている。プリントを見ていないからこそ相手の考えを聞き、意見のやりとりをしながら議論を深めていくことが大事。

第1学年 道徳学習指導案

令和6年6月5日(水) 第5校時
指導者 楠 祐希

1 学年 1年A組(男子21名 女子13名 計34名)

2 主題名 「クラスの中での社会正義」差別や偏見のない 公正・公平な態度で

3 教材名 「席替え」(新訂 新しい道徳1 東京書籍)

4 ねらい

主人公が席替えのやり直しを提案した理由を多面的に考えることで、誰もがもっている「自分さえよければいい」という考えや、「周りの言動に納得いかないことがあっても言わない、関わりたくない」という考えに流されてしまう弱い心を理解しつつも、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、さらには自分の成長にもつながるということに気付かせたい。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

C(11) 公正、公平、社会正義(主として集団や社会との関わりに関すること)

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること

中学校に入学して間もない時期には、自己中心的な考え方や偏った見方をしてしまい、他者に対して不公平な態度をとってしまったり、周囲で不公平があっても、多数の意見に同調したり傍観したりするだけで、制止することができないこともある。そうした自分の弱さに向き合い、克服して、問題を解決し乗り越えようとするのが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付かせる。

(2) 生徒の実態について

1年生の生徒たちは、とても素直で元気よく、男女共に仲が良い。物静かな生徒もいるが、一人一人がしっかりと自分の考えをもっており、グループや周りの友達と意見交換することができる。正義感の強い生徒も多く、お互いに注意しあうこともできるが、口調がきつくなっているのが気になることがある。また、状況によっては、自分のことだけを考えて、仲の良い子同士で楽しくやりたいという思いに流され、周りの言動に納得いかないことがあっても、見て見ぬふりをしてしまう弱い部分もある。そのような、みんながもっている思いや弱さを理解しつつも、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付かせたい。

(3) 教材について

中学生にとって友人と過ごすことは大切な意味をもっている。特に仲の良い友人と一緒にいたいという思いが強いことから、学校での生活を左右する大きなイベントでもある席替えは、しばしば子どもたちの本音があらわになる場面である。席替えのやり直しを提案する主人公の姿を通して、誰もがもっている自己中心的な考えや見て見ぬふりをしようとする弱い部分に気付き、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくるという考えが深められる教材である。

6 本時の展開

	<p>学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)</p>	<p>指導上の留意点 (◇評価)</p>
<p>導入 5分</p>	<p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？</p> </div> <p>1. 身の回りの公正・公平について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不公平がないようにする ・決まりやルールを守る ・みんな一緒か、同じか考える 	<p>・数名を指名 (全体で共有)</p>
<p>展開 40分</p>	<p>2. 教材を範読し、内容確認する。→ その後、深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ 再度、席替えを提案したのはなぜだろう？</p> </div> <p>自分の考えをワークシートに書き、その後近くの人と交流する。 〔☆並んで座りたかった人、仕方なく席をゆずった人の気持ちは？〕 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大半の人が自分勝手に席を替わっていた。 ・勝手に席を替わるのは不公平だから。 ・嫌な思いをした人がいたから。 ・席替えした意味がないから。 ・いいクラスにしたいから。 <p>(問い返し) ☆嫌な思いをした人も、好きな友達の上に替わればいいのか？ ☆みんなの都合がよい席に話し合っただけでは？ ☆不公平だったら、ダメなの？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆自分の思いを押し通そうとする人がいるのはどうしてだろう？</p> </div> <p>近くの人と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・席替えの仕方に納得がいかないから。 ・自分さえよければいいという弱い心があるから。 ・自己中心的な考えがあるから。 ・自分勝手だなぁと思いつつも見て見ぬふりをする空気がある。 <p>【深めていく】(問い返し) ☆自分が楽しく過ごせるのが一番じゃない？ ☆あなただったらどう？ ☆みんな自分の思いを押し通したら、クラスはどうなるかな？ ☆思いを押し通そうとする人はどうしたらいいかな？ ☆どんな集団だったら安心できるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な思いをする人がいない ・きちんと思いを聞いてもらえる ・嫌な事を嫌だと言える ・みんなの問題として考えてくれる 	<p>・小グループで交流する。</p> <p>・自分の言葉で発表できるように教材は裏向けさせ、できるだけワークシートは見ずに発表させる。</p> <p>・全体でわいわいがやがや交流できる雰囲気作りに努める。</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？</div> <p>どんな考えや気持ちが必要だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの思いを大切にできる ・お互いの弱さを理解する ・正しいことが当たり前になる ・集団の中での問題をみんなの問題としてとらえ、解決しようとする ・みんなが平等で、安心できる空気づくり 	<p>◇お互いの思いや弱さを理解し、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることができる</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>3. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p>	<p>・自己評価を記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。</p>

7 評価について

誰もがもっている自己中心的な考えや見て見ぬふりをしようとする弱い部分に気付き、一人一人が平等に扱われるために、クラスの中での問題をみんなの問題としてとらえ、それらを解決し、乗り越えていこうとすることが、よりよい集団をつくり、自分の成長にもつながるということに気付く。

(発言・ワークシート)

17-1 席替え (教科書p. 99~103)

学習日 年 月 日
組 番 名前

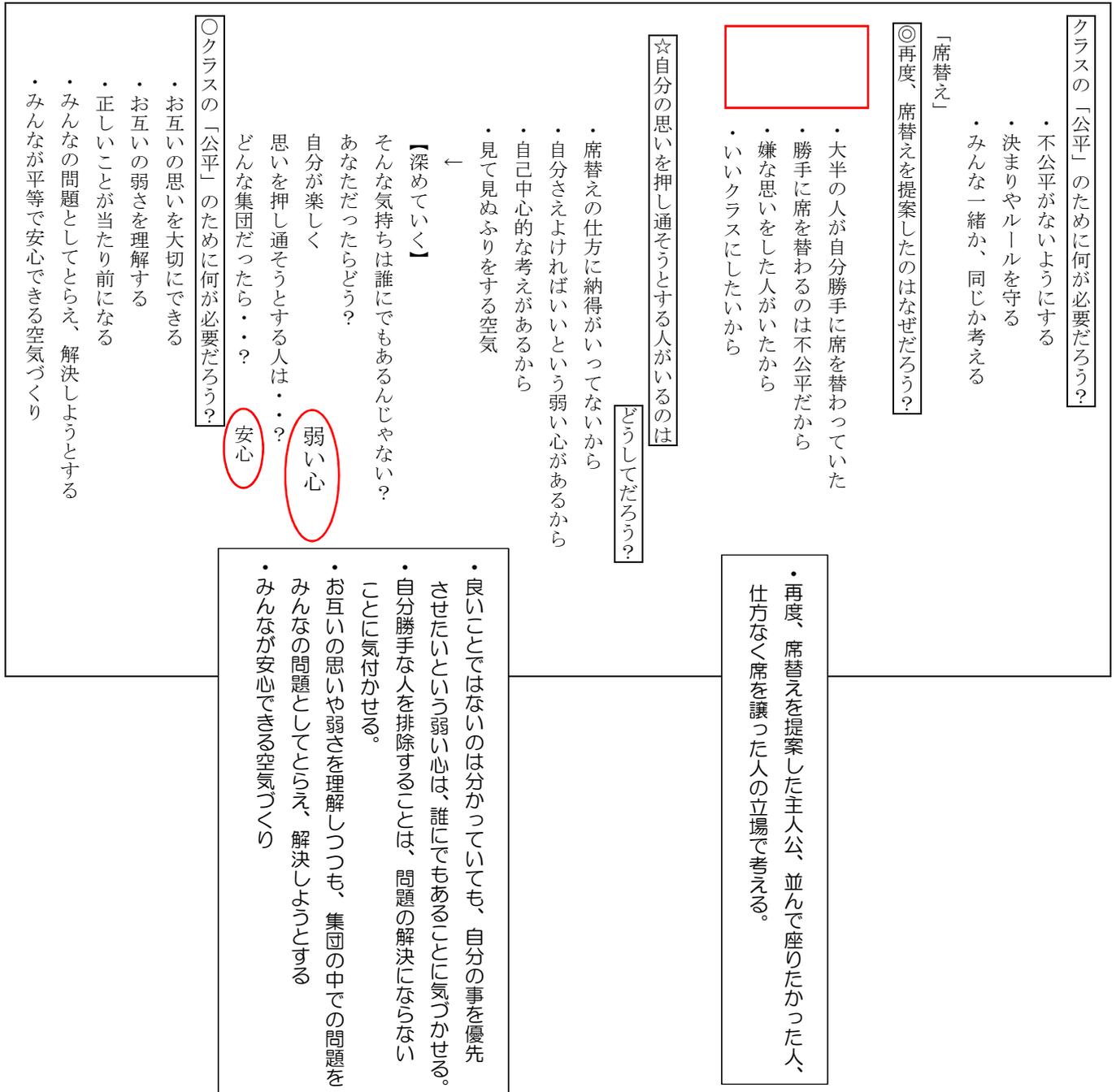
問い：クラスの中での「公平」のために何が必要だろう？



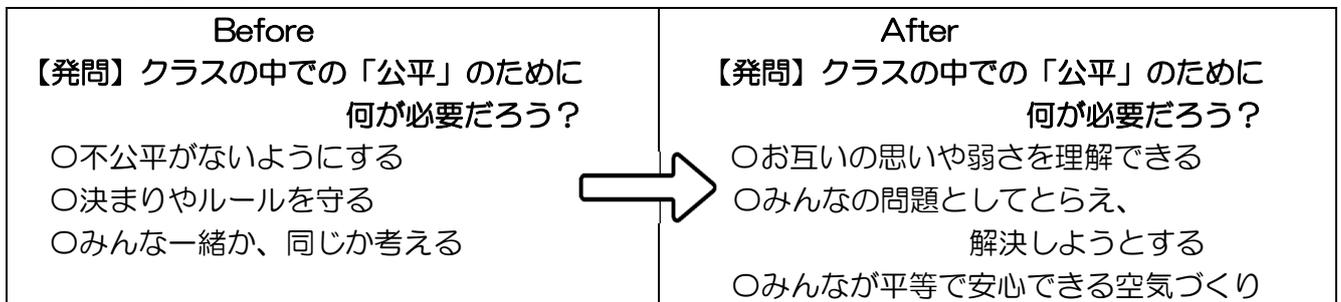
問い：「私」が、再度席替えを提案したのは、なぜだろう？

振り返り

8. 板書計画



授業づくりシート



第2学年 道徳学習指導案

令和6年10月16日(水) 第5校時
指導者 安樂 都

- 1 学年 2年A組(男子14名 女子18名 計32名)
- 2 主題名 「あきらめない気持ちで」
- 3 教材名 「左手でつかんだ音楽」(新訂 新しい道徳2 東京書籍)

4 ねらい

自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活を充実したものにする。息子から贈られた楽譜をきっかけに、再起を果たすまでの主人公の気持ちの変容を通して、目標を達成するためには、困難や失敗を受け止めて、希望と勇気を失わず前向きに努力し続ける姿勢や、強い意志を持って、最後までやり遂げようとする態度を養う。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

A(4) 希望と勇気、克己と強い意志

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

人間としてよりよく生きるために目標や夢を持つことは大切である。生涯をかけて理想や目標を持ち、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けることが、人生の充実につながる。

目標の実現には、様々な困難を乗り越えなくてはならない。逆境から立ち直り、目標に向かって努力し続けるには、困難や失敗を受け止めて希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められることを理解し、困難や失敗があっても、それを乗り越え、最後までやり遂げようとする意欲や態度を養う。

(2) 生徒の実態について

中学2年生のこの時期は、部活動など学校生活で中心的な役割を担うことが増え、主体性を発揮できる反面、困難や失敗に直面することも多くなる。本校の生徒は、男女での交流が難しい場面もあり、全体指導の際、自発的に発言し意見を述べる生徒はごくわずかで、積極性に欠ける一面もある。目標に向かって頑張ることのできる生徒もいるが、困難にぶつくと消極的になり途中であきらめてしまう生徒もいる。夢の実現や目標の達成に困難や失敗はつきものであり、そこから逃げるのではなく、自分自身の弱い心と向き合い、勇気や希望を持って挑戦する姿勢や、目標を持ち続けることの大切さに気付かせたい。

(3) 教材について

懸命にリハビリに励むも回復しない右手に絶望しかけたピアニストの主人公が、息子から贈られた「左手のための三つの即興曲」を弾くことで新たな希望を見だし、再起を果たす実話である。

夢や目標を実現するためには、挫折に打ち勝とうとする心や、困難があってもそれにとらわれない柔軟な思考、さらに、目標を持ち続け、それに向かって前向きに努力することで生まれる充実感に気付くことのできる教材である。

6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>めあて</p> <p>○困難を乗り越えるために大切なことは？</p> <p>1. これまでの自身の経験から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない ・原因解明 ・気にしない ・たくさん練習する ・現実をうけとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名 (全体で共有)
展開 40分	<p>2. 内容の確認をする。→ その後、深める。</p> <p>○ 右手が動かなくなった時の舘野さんの気持ちは？</p> <p>☆自分だったらどうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶望 ・何もする気が起きない ・最悪 <p>☆絶望の中でもリハビリを続けたのはなぜ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノが好きだから ・両手で弾きたい ・あきらめられない <p>ロイロノートで心情円を用いて考える。(絶望は青、それ以外の感情はピンク)</p> <p>◎「泣けてきた」のはどうして？</p> <p>自分の考えをまとめやすくするためにワークシートに記入し近くの人と交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しい。 ・ピアニストとしての道が残されていることに気付いたから。 ・まだ音楽ができるかもしれないと思って息子に感謝の気持ち。 ・両手で弾くことだけがピアノではないと気付いた。 ・新しい目標ができたから。 ・新しい夢を見つけたから。 <p>【深めていく】</p> <p>☆なぜ夢・目標を持つことが大事なんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションが上がる ・達成感を感じられる ・自信が付く ・前向きになれる ・成長できる ・努力を続ける意欲がわく <p>☆夢や目標を達成するために大切なことって何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に叶えるという強い気持ち ・自分に負けずに前向きに頑張る気持ち ・やる気 ・忍耐力 ・根気強さ <p>○困難を乗り越えるために大切なことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を持ち続ける。 ・努力し続ける。 ・困難があってもあきらめないうで挑戦し続ける。 ・あきらめないう強い意志を持ち続ける。 ・困難や失敗の解決方法を柔軟に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容をより深く理解するためにあらすじをパワーポイントで確認。 ・主人公の気持ちに共感させるために自我関与の補助発問。 ・あらすじの確認 ・ペアで交流する。 ・自分の言葉で発表できるように、ワークシートは裏向ける。 (キーワード) 夢・目標・希望・挑戦 ・考えを深めるために生徒から出てきたキーワードから切り返す。 ☆できなかったことができたようになったことで新しく何が持てるようになったんやろう <p>◇困難から逃げるのではなく、あきらめないう強い意志を持ち、努力し続ける大切さに気付くことができる。</p>

終 末 5 分	<p>3. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を記入することで、自分の授業への取り組みを振り返る。 音楽をかける
------------------	--	--

7 評価について

目標や夢の実現には、困難はつきものであるが、そこから逃げるのではなく、困難に打ち勝とうとする心や、勇気や希望を持って挑戦し続ける姿勢、目標を持ち続けることの大切さに気付く。(発言・ワークシート)

8 板書計画

- ・モチベーションが上がる
- ・前向きになれる
- ・自信がつく
- ・達成感がある
- ・努力を続ける意欲がわく

「泣けてきた」のはどうして?

・嬉しい

・新しい目標ができたから

・まだ夢は叶えられるかもと感じたから

・ピアノリストとしての道が残されてる

・両手で弾くだけがピアノではない

・息子への感謝

・息子に恩返し

「左手でつかんだ音楽」

困難を乗り越えるために大切なことは?

- ・あきらめない
- ・原因解明
- ・現実を受け止める
- ・気にしない

困難を乗り越えるために大切なことは?

・努力し続ける

・目標を持ち続ける

・あきらめないで挑戦し続ける

・強い意志を持ち続ける

「泣けてきた」のはどうして?

・絶望

・何もする気が起きない

・最悪

リハビリ

- ・ピアノが弾きたい
- ・ピアノが好き
- ・挑戦することをあきらめたくない

右手が動かなくなった時の舘野さんの気持ちは?

夢・目標

絶対に叶えるという強い気持ち

あきらめない

前向き

根気強さ

忍耐力

自分に負けず

前向きに頑張る気持ち

困難

授業づくりシート

<p style="text-align: center;">Before</p> <p>【発問】 困難を乗り越えるために大切なことは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あきらめない。 ○現実を受け止める。 ○気にしない。 ○原因解明。 	➔	<p style="text-align: center;">After</p> <p>【発問】 困難を乗り越えるために大切なことは?</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標を持ち続ける。 ○あきらめないで挑戦し続ける。 ○乗り越えるという強い意志を持ち続ける。 ○困難にとらわれず柔軟に考える。
↓		↑
<p>【中心発問】</p> <p>◎「泣けてきた」のはどうして?</p>	➔	<p>【補助発問】 (深めていく)</p> <p>☆なぜ夢や目標をもつことが大切なんだろう?</p> <p>☆夢や目標を達成するために大切なことはなんだろう?</p>

左手でつかんだ音楽 (教科書p.144~148)

○ 「泣けてきた」のはどうして？

Blank area for writing an answer to the question above.



○ 困難を乗り越えるために大切なことは？

Blank area for writing an answer to the question above.

○ 振り返り

Blank area for writing a reflection or summary.

研究授業を終えて【令和6年10月16日(水)安楽教諭研究授業】

成果

【授業デザイン】

- ・時間配分が適切であった。
- ・パワーポイントで写真等を使用することで、教材確認をスムーズに行うことができた。
- ・めあてについて考えを深めることができる板書であった。

【授業者の様子】

- ・テンポよく授業を進める場面と、じっくり待つ場面があり、メリハリのある授業であった。

【生徒の様子】

- ・自分の意見を積極的に発表することは難しい場面もあったが、ワークシートでは自分の思いをしっかりと書くことができていた。
- ・非常に落ち着いており、指名されたときは自分の意見を発言できた。

課題

【授業デザイン】

- ・近隣の生徒との意見交流だけではなく、グループ活動などを効果的に取り入れ、よりわいわいがやがやとした環境作りが必要であった。
- ・ICTで心情円を活用したが、中心発問の内容と心情円の内容が重複しており、心情円の効果的な活用ができていなかった。
- ・中心発問までに主人公の「絶望」をおさえておく必要があったが、「絶望」の捉え方が浅い状態で中心発問にうつってしまったために、第三層まで深めることができなかった。自我関与に関する発問のタイミングなど、もっと主人公の「絶望」を感じることができる場面で発問するべきであった。

【授業者の様子】

- ・教師対生徒の受け答えが多く、全体への問い返しができていなかった。
- ・教師が喋り過ぎてしまい、ファシリテーター役に徹することができなかった。
- ・生徒同士のやりとり中心の授業ではなく、教師が指名してしまう場面が多かった。普段から積極的に発言をする生徒達ではないため、生徒同士で活発に話し合いができる工夫をする必要があった。

【生徒の様子】

- ・コの字型の座席にすると、目配せをする生徒が見られた。
- ・意見交流の際に、ワークシートを裏向けさせても、自分の意見を確認するために見てしまう生徒が見られた。